
令和2年度 島根県立矢上高等学校
「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」 活動報告書

おおなん協育プロジェクト
～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～



島根県立矢上高等学校

目次

はじめに	2
本事業の概要	3
I：総合的な探究の時間の再構築	5
・総合的な探究の時間（1年）	10
・総合的な探究の時間（2年）	17
・総合的な学習の時間（3年）	31
II：教科横断型カリキュラムの開発	34
・令和2年度に開発した教科横断型プログラム	35
III：学校設定教科「起業探究」の設置	39
イベント報告	42
・課題解決型学習発表会／令和2年12月20日（火）	
・未来フォーラム／令和3年1月27日（水）	
・探究学習シンポジウム／令和3年2月20日（土）	
実施体制報告	47
・運営指導員会	
・コンソーシアム総会	
取り組み成果と次年度に向けて	49
新聞等掲載	51

矢上高校と地域の未来に向かって

島根県立矢上高等学校 校長 志波英樹

70 有余年の歴史と伝統をもつ矢上高等学校は、創立時に住民みずからが協力して校舎建設に参加したというエピソードが物語るように、地域から格別の愛着と期待を受けながら、地域とともに歩んできた学校です。これまでも、授業、部活動、学校行事から環境整備に至るまで、あらゆる部分で邑南町ならびに地域の方々からの手厚い支援を受けながら、教育活動を展開してきました。

平成 23 年度から島根県の高校魅力化事業が始まると、地域との協働体制はさらに強固なものになっていきます。平成 27 年度には“ふるさとを思い地域をつくる人づくり”を基本理念とする「矢上高校将来ビジョン」を策定して、邑南町の未来を支える地域人材の育成に取り組んできました。令和 2 年度には、「第 2 期矢上高校将来ビジョン」を策定するとともに、「矢上高校と地域の未来をつくる会(コンソーシアム)」を立ち上げ、新たなスタートを切ったところです。

そのような中、文部科学省が「高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する」ことを目的とした「地域との協働による教育改革推進事業」を開始しました。令和 2 年度から 3 年間、この事業(地域魅力化型)の指定を受けることができたことは、従来からの地域連携を土台としながら新たな協働体制の構築をめざしていた本校の動きと時宜にかなひ、マッチングしたものになったのではないかと考えます。

「第 2 期矢上高校将来ビジョン」では、基本方針の中に「地域との連携による教育活動の推進」、「学力・社会力・人間力の情勢とふるさとの未来を担う人材の育成」を掲げることにより、地域と密着して教育活動を展開していきながら、地域の未来を支える人材を輩出していくという方向性を明確に打ち出しました。またコンソーシアムには、地元自治体として邑南町と邑南町教育委員会、高等教育機関として島根大学と島根県立大学、産業界から邑南町商工会、邑南町進出企業会、JA しまね島根おおち地区本部、医療法人徳祐会、公立邑智病院など、地元経済を支える多彩な団体に参画していただきました。

「おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～」と銘打った本事業は、「総合的な探究の時間」、学校設定教科「起業探究」、教科横断型カリキュラムの開発を軸としながら、地域課題解決型学習を推進していくプログラムとなっています。これらの取組を、第 2 期ビジョンに示す活動内容やコンソーシアム構成団体との関係性を意識しながら、体系的に進めていくことが、何よりも肝要であると考えています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症流行により、地域に出かけて行う活動が予定通りにできなかつたり、成果発表の場を兼ねた立命館大学への研修旅行を中止したりといった影響が出ました。そのような困難な状況にあっても、初年度にあたる生徒たちは、私たちの予想を超えて活発に活動してくれました。初めての試みとして実施した普通科と産業技術科の課題研究合同発表会も、これからの両科の協奏に向けた可能性を大いに感じさせてくれるものでした。今後生徒たちがどのような成長をみせてくれるのか、とても楽しみです。

最後になりますが、本年度の活動にあたり、関係の皆様のご支援ご協力に心より感謝いたします。引き続き、矢上高校と地域の未来に向けて取組を充実させていく所存ですので、これからもご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

■ 本事業の概要

(1) 研究開発概要

“おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～”

本校普通科において、地域人材を育成するためには、地域に飛び込み、地域住民と関わる中で課題を見つけ、多様な人々と協働し、教科や地域の歴史や文化といった様々な知恵を結集させ、課題解決を実践するカリキュラムを作ることが重要である。「邑南町住民や行政」「本校産業技術科」「大学等専門機関」との協働による教育（協育と呼ぶ）を図り、普通科の生徒が自ら問いを立て、本校独自の地域探究ができるようにする。これら3つの協育による教材を、Ⅰ「普通科の総合的な探究の時間の再構築」やⅡ「教科横断カリキュラムの整備」、Ⅲ「学校設定教科『起業探究』の設置等」に合わせたものとして作成し、検証・普及させることで、邑南町及び本校独自の地域課題解決型学習モデルを築き、邑南町総がかりで地域人材の育成を図る。

(2) 目的・目標

本校のある邑南町は、中国山地の山間にある約1万人の町である。高齢化率は43%を超え、2040年消滅可能性都市に挙げられている。本校は邑南町唯一の高校として、これまでも地域を支える多くの人材を育成してきたが、町の人口減や高齢化が進む中で、地域を支えるだけでなく、地域の未来を担う人材の育成がさらに求められている。そこで、邑南町民・行政、本校産業技術科・大学等専門機関と協働し、総合的な探究の時間の再構築、教科横断型プログラムや学校設定教科の設置など、地域と生徒が協働で課題解決できるよう普通科のカリキュラムを整備し、地域の未来を担う人材を輩出することを本構想の目的とする。

(3) 育みたい地域人材像 「ふるさとを思い 地域の未来をつくる人」

育みたい地域人材は、「ふるさとを思い 地域の未来をつくる人」である。邑南町で就職や起業することによって、地域の発展に貢献する人であり、邑南町外にいてもふるさとへの愛着を忘れず、関係人口として地域を支える人であり、そのどちらも邑南町を持続可能な町として、未来を作っていく人である。

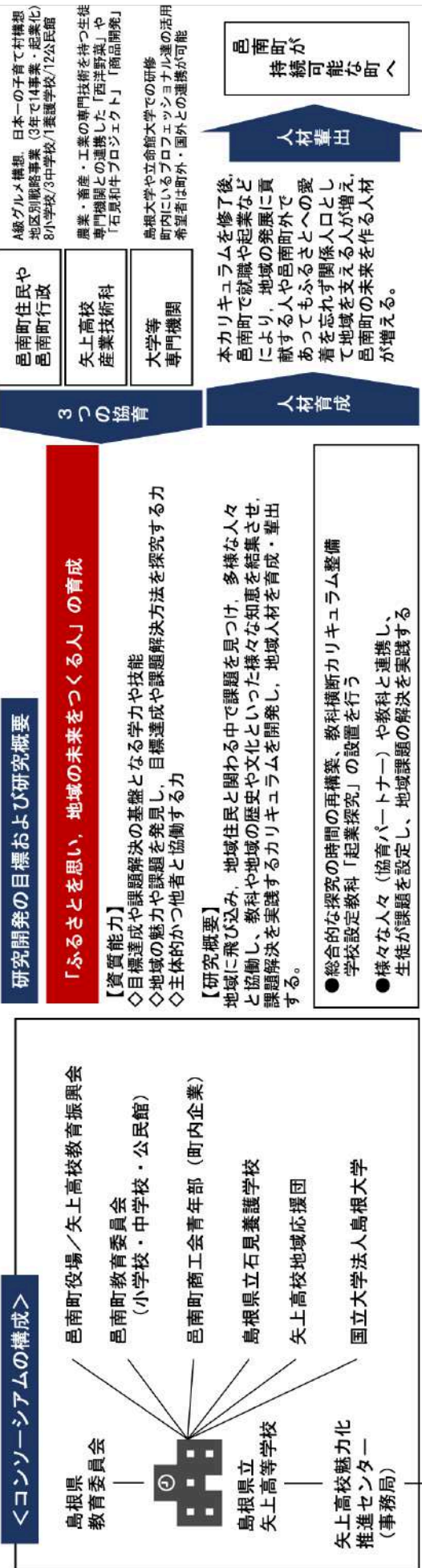
《資質・能力》は次のとおりである。

- 1：目標達成や課題解決の基盤となる学力や技能
- 2：地域の魅力や課題を発見し、目標達成や課題解決方法を探究する力
- 3：主体的かつ他者と協働する力

(4) 取組内容

- ①総合的な探究の時間の再構築
- ②教科横断カリキュラムの整備
- ③学校設定教科「起業探究」の設置

おおなん協育プロジェクト ～ 邑南町総がかり！ 協働で育む“協育”カリキュラムの開発～



＜1学年＞地域と自身を知る

総合的な探究の時間

- ＜地域探究技法を習得する＞
 - ・地域探究技法講座
 - ・行政フィールドワーク
- ＜企業と行政と関わり、自分とイノベーションを企画する＞
 - ・探究インターンシップ

教科横断カリキュラム

- ・家庭×保健体育×公民福祉プログラム（5時間）
- ・農業×理科（生物）SDGs生物多様性（10時間）

＜2学年＞地域課題解決を図る

総合的な探究の時間

- ＜チームで地域探究を実施する＞
 - ・ガイダンス
 - ・フィールドワーク、課題解決
 - ・研修旅行にて中間発表
- ＜@立命館大学食マネジメント学部 地域へフィールドバック＞
 - *小・中学校のふるさと学習と合同で課題解決型学習の実施
 - *産業技術科の課題研究と連携し、共同研究を実施するチームも

学校設定教科

- ・「起業探究」起業探究 I

＜3学年＞地域と自身の未来を考える

総合的な探究の時間

- ＜進路実現に向けた取り組み＞
 - ・自己PRを作り上げ、プレゼン
- 選択授業**
 - ＜専門分野に特化した課題解決＞（10時間）
 - ・「フードデザイン」での実践
 - ・「生活と福祉」での実践（35時間）

学校設定教科

- ・「起業探究」起業探究 II

研究の成果発表・普及

普通科 地域探究学習発表会

普通科・産業技術科 未来フォーラム

おおなんドリーム 学びのつどい

小中高生の発表の場。12年間の学びの集大成で、1チームのみ発表する。

本事業終了後は、対象を普通科だけでなく、産業技術科へも拡大させ、普通科・産業技術科共通カリキュラムを作る

令和2年度時点での事業対象学科の生徒数

学科	1年	2年	3年	4年	計
普通科	60名	42名	58名	0名	160名
産業技術科	33名	27名	26名	0名	86名
合計	93名	69名	84名	0名	246名

I：総合的な探究の時間の再構築

1. 普通科「総合的な探究の時間」基本情報

- ・単位：1単位（年間35時間）＊3学年（1年生：60名、2年生：42名、3年生：58名）
- ・実施：月曜日7時間目（15:20～16:10）
- ・担当：クラス担任 / 企画：魅力化推進センター

2. 総合的な探究の時間の構成

本校普通科の「総合的な探究の時間」は、自身の進路を考え、決定する「進路探究」と、地域の課題や魅力を発見し、課題解決を行う「地域探究」の2つの側面を持っている。今後は進路探究と地域探究の融合が課題となるが、今年度は、昨年度までの内容を踏襲しつつ、内容の再構築を図った。

（1）3年間の流れ（計画段階）

本校生徒が、3年卒業段階で、「ふるさとを思い、地域の未来をつくる人」として成長するため、1年次の目標を「地域と自身を知る」、2年次の目標を「地域課題解決を図る」、3年次の目標を「地域と自身の未来を考える」とした。

1年目は、3学期にコース選択（2年次、3年次は「総合コース」、「探究コース」に分かれるため）があり、納得のいくコース選択を図るために、自身の将来（少なくとも卒業時の状態について）を考え、決定しておく必要がある。そこで、1学期は、進路探究や地域での探究、どちらにおいても必要となる基礎的なスキルを習得することを目標とし、問いの立て方や思考ツールの紹介、また教科横断するテーマを扱うことで、探究スキルの活用場面を作った。2学期は、大学見学訪問等の時期にも当てはまるため、自身の進路哲学を立てることを目標におき、進路に係るさまざまな視点（人生100年時代、お金について、労働問題等）を、探究スキルを使って考え、さらに地域の大人たちや卒業生の声を聞く機会、インターンシップなどを計画した。3学期は2年次に地域探究を行うことを前提に、課題解決を図る計画とした。

2年目は、コース問わず、全員が地域探究を行う。1学期にフィールドワークや地域の方々と関わり、課題の発見や魅力の再発見をし、それらを生かして地域での課題解決実践を行う。途中、立命館大学食マネジメント学部での研修旅行にて中間発表を行い、他視点からのフィードバックをさらに生かす。1～2学期にかけて行なった研究実践を、12月には普通科1年、2年を対象とした「課題解決型学習発表会」、1月には普通科・産業技術科の1～3年を対象（ただし、大学入試受験生は除く）とした「未来フォーラム」、2月には邑南町内の小学校、中学校、養護学校、町民を対象に学習発表を行う「おおなんドリーム学びのつどい」にて、研究内容を発表する機会を設けている。3学期には地域探究での学びを振り返り、自身の進路探究へ生かす。

3年目は、進路探究をより深め、地域探究や2年間の実績を、自己PRや志望動機等へ生かす機会を設けている。2学期では教員と生徒による機会を設け、進路を深く掘り下げていき、3学期以降は、邑南町からの「はばたき講座」として、邑南町の公民館と連携し、U・Iターンした若者との対話の場を設け、邑南町の未来を作る人材とは何かを探究する機会とする。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) のような計画を立案していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延により、計画の変更を余儀なくされた。特に、企画のねらいを考慮し、他の計画や学習進度を踏まえ、中止や代替可能であれば代替行なった。具体的には、以下のような対策を講じた。

学年	変更前	変更後
1 学年	○フィールドワーク	5 月に行政へのフィールドワークに予定していたが、休校期間となったことで中止となった。
	○インターンシップ	10 月にインターンシップ（病院や高齢者福祉施設などを想定）を検討していたが、受け入れが難しいと判断。そこで、インターンシップを中止し、地域や地域外の大人からその人の生き方を教えてもらう場を設けることにした。
2 学年	○フィールドワーク	7 月にバスに乗車し、地域の大人たちと関わる機会を設ける予定だったが、高校生が長時間バスに乗り続けることや感染拡大のリスクを考慮し、地域の大人たちに来校いただく／オンラインで話していただく機会へ変更した。
	○研修旅行	11 月に実施予定だったが、バスの移動や宿泊を伴うことでのリスクを考慮し、中止となった。その代わりに、オンラインでオープンキャンパスを企画する、中間発表を行うなどを行なった。
1、2 年	***	休校に入る前、「新型コロナウイルス感染症」をもとに、感染経路やインターネットやニュースなどで示される情報の正否について考える機会を作った。また、課題解決として、新型コロナウイルス感染症蔓延対策のための T シャツデザインを休校期間の課題とし、その後最優秀デザインを決定。最優秀デザインの T シャツは町内アパレル店にて限定 100 着販売を行い、売り上げは全て町内の社会福祉協議会へ寄付した。
3 学年	○地域の方々へのプレゼンの場	7 月に作った自己 PR や志望動機を地域の方々にはプレゼンする機会を予定していたが、長時間に大人数の生徒が地域に出ることのリスクを考慮し、中止とした。

中止や変更だけではなく、新型コロナウイルス感染症自体を教材と捉え、予定にはなかったが休校期間中の課題として、「新型コロナウイルス感染症蔓延対策 T シャツを考える」というものとし、課題解決について考える機会を作った（右写真）。



(3) 実施状況

令和2年度 普通科1年生 総合的な探究の時間

月	日	学習項目	学習内容
5	25	学びみらいPASS	自分のリテラシーやコンピテンシーを可視化する
5		学びみらいPASS	
6	1	「考える」を考える	質問づくりのトレーニング
6	8	5W1Hで考える	質問づくりのトレーニング
6		プチ探究	前時の調査する
6	15	プレーストーミング	プレストの手法を学ぶ
6	22	タイムマネジメント	目的達成の手法を学ぶ
7	16	未来の食卓を考える	食糧問題について考える
9	7	キャリアガイダンス	2年次のコースの違い、卒業後の大学・専門学校、就職等についての説明会
9		キャリアガイダンス	
9	14	邑南町基礎講座	邑南町の産業についての講話
9	15	オンラインオープンキャンパス	島根大学オンラインでオープンキャンパスを実施
9		オンラインオープンキャンパス	
9		オンラインオープンキャンパス	
10	12	「進路を考える」を考える	進路についての考え方を知る
10	19	お金と人生と自分の関係	幸せのためにお金はどの程度必要かを考える
10	26	人生100年時代を考える	100年時代の中での進路の考え方を知る
11	2	現代版アリとキリギリス	労働問題や福祉問題について考える
11	9	十人十色生き方講座①	地域内外の社会人から生き方を教えてもらう
11	16	十人十色生き方講座②	地域内外の社会人から生き方を教えてもらう
12	7	十人十色生き方講座③	地域内外の社会人から生き方を教えてもらう
12	14	十人十色生き方講座④	地域内外の社会人から生き方を教えてもらう
12	22	課題解決型学習発表会	2年生が取り組んだ課題解決型学習のプレゼンを聞き、評価する
12		課題解決型学習発表会	
12		課題解決型学習発表会	
12		課題解決型学習発表会	
1	27	未来フォーラム	普通科2年生、産業技術科3年生の取り組みプレゼンを聞き、評価する
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
2	15	3年生 YELL プロジェクト	卒業生を気持ちよく送るための企画を考える
2	22	YELL プロジェクト準備	YELL プロジェクトの企画準備
3	8	1年間のふりかえり	1年間の成長をふりかえる
3	15	次年度に向けて	次年度の課題解決型学習のテーマを考える

令和2年度 普通科2年生 総合的な探究の時間

月	日	学習項目	学習内容
5	25	探究のテーマを決める	各チームが取り組むテーマを考える
6	11	情報収集	他のチームの情報やテーマに関する情報を収集し、地域への質問を考える
6		情報収集	
6	19	地域について教えてもらおう	対面もしくはオンラインで地域の情報について教えてもらう
6		地域について教えてもらおう	
6	22	集めた情報を共有しよう	チーム内で情報を共有する
7	6	企画書を作ろう	地域の課題解決のための一枚企画書をつくる
7	13	中・中間発表	各チームの企画を発表し合い、お互いフィードバックする
7		中・中間発表	
9	14	大学生との相談会	立命館大学の大学生と企画について検討、準備する
9		大学生との相談会	
10	19	企画を再検討しよう	考えきれていない部分について再検討する
10	26	企画を準備しよう	フィールドワークなど、企画準備を行う
10		企画を準備しよう	
10		企画を準備しよう	
11	9	発表準備をしよう	スライドやレポートなど発表準備する
11	16	企画や発表の準備をしよう	企画準備や発表準備を行う
11	19	オンラインキャンパスツアー	研修旅行で行う予定だった立命館大学のキャンパスツアーをオンラインで実施する
11		オンラインキャンパスツアー	
11		企画や発表の準備をしよう	企画準備や発表準備を行う
11		企画や発表の準備をしよう	
11	20	立命館大学中間発表会	研修旅行で行う予定だった立命館大学とオンライン接続し、成果発表を行う
11		立命館大学中間発表会	
11		立命館大学中間発表会	
12	14	発表の準備をしよう	発表準備を行う（原稿完成）
12	22	課題解決型学習発表会	普通科1年生、2年生、カリキュラム開発等 専門家の前で、10分間のプレゼンを行い、互いに評価する
12		課題解決型学習発表会	
12		課題解決型学習発表会	
12		課題解決型学習発表会	
1	27	未来フォーラム	普通科2年生、産業技術科3年生の取り組み プレゼンを聞き（選抜されたチームはプレゼンする）、評価する
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
2	15	1年間のふりかえり	1年間の取り組みを整理・成長を振り返る
2	22	YELLプロジェクト準備	1年生が企画した企画を準備する

令和2年度 普通科3年生 総合的な学習の時間

月	日	学習項目	学習内容
5	25	志望動機を考える	自身の進路志望を明確にする
6	1	ポートフォリオを振り返る	2年間を振り返り、取組を整理する
6	8	合格体験記を読み込む	合格体験記を読み、今後の計画を立てる
6	15	経験と志望動機をつなぐ	進路志望と自身の経験をつないで考える
6	22	タイムマネジメント	目的達成の手法を学ぶ
9	14	小論文の書き方講座	小論文の書き方を知る
9		小論文の書き方講座	小論文の書き方を知る
9	28	進路調査	自身の進路を明確にし、準備する
9	28	進路調査	自身の進路を明確にし、準備する
10	12	面接トレーニング	質問項目を整理し、進路志望を明確にする
10	19	面接トレーニング	質問項目を整理し、進路志望を明確にする
11	2	個別進路面談	進路について個別にフィードバック
11	9	個別進路面談	進路について個別にフィードバック
11	16	個別進路面談	進路について個別にフィードバック
12	7	個別進路面談	進路について個別にフィードバック
12	14	個別進路対策	進路について個別にフィードバック
12	21	個別進路対策	進路について個別にフィードバック
1	27	未来フォーラム	普通科2年生、産業技術科3年生の取り組みプレゼンを聞き、評価する
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
1		未来フォーラム	
2	10	羽ばたき講座①	邑南町にU・Iターンした30代前半までの若者とトークセッション
2		羽ばたき講座①	
2		羽ばたき講座①	
2		羽ばたき講座①	
2	17	羽ばたき講座②	一人暮らしの食事の取り方や犯罪に合わないための消費者行動についての講話
2		羽ばたき講座②	
2		羽ばたき講座②	
2		羽ばたき講座②	

・総合的な探究の時間（1年）

1. 1学期の取組

(1) 流れ

予定していたフィールドワークなどは中止し、校内でできる探究スキルの習得を企画立案した。「考える」ことを考える、というテーマで、「問いを立てる」「問いの優先順位をつける」「優先順位に従って、問いを解消する（調べる）」というプロセスを丁寧に行なった。この他、教科横断型の授業を実践（後述：「未来の食卓を考えよう！」）する他、初めての期末試験（新型コロナウイルス感染症によって、中間試験が実施できなかった）のための計画立案などをおこなった。

(2) 教材（ワークシート）

・課題：課題解決の“術”を体得し、新型コロナウイルス感染症を抑えよ！

総合的な探究の時間 **課題解決の“術”を体得し、新型コロナウイルス感染症を抑えよ！** 年 組 氏名

ミッション
【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の危険性を、お年寄りや子供たち、高齢者の人々に注意喚起するロゴやキャッチコピーを考えよう！】

（1）Tシャツにする条件を確認しよう

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の危険性が広がるコピーであること
- ロゴやキャッチコピーはおもて面のみ・色は2色までとする（価格を抑えるため）
- Tシャツの色は、白色とする
- 他の印刷されたロゴやキャッチコピーを使うのは犯罪です。著作権や肖像権は十分注意しましょう。

※市内のTシャツ業者と手を組み、実際に商品化（限定100着）する。
※価格は1,200円とし、売り上げの一部は慈善・福祉関係者や慈善関係者の寄付に回す予定。

ズボンに載せる、ロゴやキャッチコピーを考えよう

＜参考動画＞
【印刷！「ロゴ」を考えるプレスト会社@tag220
https://www.youtube.com/watch?v=946924020e

プールのブランド店さんにも
同じような取り組みを
行っていました。
参考にしてみてください。
※著作権や肖像権には
十分注意してください。

＜考えるポイント＞
面白いアイデアを発想するため、「ブレインストーミング（ブレスト）」をしてみよう！

（2）ブレストで考えてみましょう！
ミッションにあるような「正解が一つに決まらない問い」について、最初から決めつけるのではなく、自由に考えてみましょう。その際に便利に思われる方法の一つに、「ブレインストーミング（ブレスト）」というものがあります。

＜ブレストの注意＞
■正解はない！・・・考えたアイデアの中から一つを決めるので、正解を探さない！
■数量よりも質を大切に！・・・一気に20アイデアくらい出してから一つを決めると良い！
■ウケが悪い意見から考え始める・・・まともなアイデアは捨て去る覚悟で！

ブレストガイド

・評価基準/審査方法 下記8点に注意してアイデアを形にしてみよう

チェック項目	視点
① 地域性	県内町らしい独自性があるか
② 読解性	新聞やテレビなどで話題になるか
③ 簡潔性	他にない斬しきがあるか
④ デザイン性	1,200円出しても良いと思えるか/著作権などに違反していないか
⑤ 実用性	実店舗に貼りたいサイズになっているか
⑥ プレスト性	プレストしたかどうか

これら8項目に従って、審査委員会や審査し、最優秀賞を決める。 **①校：全教員校賞**

《備考》
事前授業（LHR）として、普通科/産業技術科含む、全てのクラスで、新型コロナウイルス感染症の正式名称や感染経路、注意事項などを伝達（町内医療関係者及び保健部と連携し内容を精査）。
本課題は、普通科1年生、2年生が実施。

邑南町立食の学校特別学習 **新型コロナウイルス対策ワークシート**

1. 「新型コロナウイルスって何？」

正式名称

正式ウイルス名

2. 「どうやって感染するの？」

新型コロナウイルスは、3つの感染経路で感染します。

感染経路

- 飛沫感染（咳やくしゃみ）
- 接触感染（握手やドアノブ）
- 食品感染（調理器具や食器）

3. 「どうやって防ぐの？」

感染経路【咳やくしゃみ】	感染経路【握手やドアノブ】	感染経路【食品】
「咳やくしゃみ」を止めるには？	「握手やドアノブ」を避けるには？	「食品」を安全に食べるには？

3. 「笑をつけて楽しいこと！」
もしかしらみんなは「暗性」かもしれない！
でも・・・

3つの「口」を避けましょう！

- ① 換気の悪い **密閉空間**
- ② 多数が集まる **密集場所**
- ③ 近くで会話や発声をする **密接場面**

密着性HPより

ミッション **お家の人が新型コロナウイルスに感染しないためのポスターを作ろう！**

「食卓」や「風呂」にも可能性がある！
だけど、一切触れないということは難しい。
だからこそ、「手洗い」「うがい」が大敵！
お風呂に入った後、「手洗い」「うがい」を必ず！
食卓を触ったら、「手洗い」「うがい」を必ず！

ぜひ、衛生的な生活スタイルも実践しよう！
また、日や口、鼻に触れないようにしましょう！

・授業1：総合的な探究の時間ガイダンス～「考える」を考える～

総合的な探究の時間 **総合的な探究の時間ガイダンス ～「考える」を考える～** 年 組 氏名

「シャツクのデザイン」、たくさん読んでくれてありがとうございます。早く考えたのだからと言う「読」を通してくれた人を見て、とても興味深かったです。6月に家庭委員会の報告、質疑応答を決定しようと思っております。しばらくお待ちください。

【レッスン1】「考える」とは、「質問づくり」である。「なぜだろう?」「なんだだろう?」「?」を持つことが、考える一歩です。

＜質問づくりのポイント＞
①できるだけ多くの質問を出す(質問より)、最低30問は出そう!
②質問について話し合ったり、話し進ませたり、答えを言ったつもりもない

【課題】簡単な質問づくりのワークをやってみよう! スライドに映された図やグラフを見て、裏面に質問を書いてみよう!

＜質問づくりのポイント＞
①できるだけ多くの質問を出す(質問より)、最低30問は出そう!
②質問について話し合ったり、話し進ませたり、答えを言ったつもりもない

【課題】簡単な質問づくりのワークをやってみよう! スライドに映された図やグラフを見て、裏面に質問を書いてみよう!

【資料】世界の、全世界、地域別 COVID-19 感染例数 (※2020年10月24日現在)

地域名	確定症例数	死者数
全世界	4,993,169 cases (102,992)	323,296 deaths (4,467)
アメリカ地域	68,347 cases (2,391)	1,919 deaths (54)
北米地域	2,166,003 cases (60,333)	128,649 deaths (2,806)
欧州地域	1,946,810 cases (17,811)	170,283 deaths (1,250)
東南アジア地域	164,225 cases (8,014)	5,140 deaths (169)
西太平洋地域	170,910 cases (955)	6,793 deaths (13)

「Man is a thinking reed.」(『パンセ(随想録)』より)
人間はひとときの葦にすぎない。
自然の中で最も弱いものである。
だが、それは_____である。

【個人で考える】

【個人で考えた質問】

今日の授業のポイント、どんなにアツらしいことでもいいので、「?」を探かせること、質問の良し悪しで評価するのではなく、「?」の数を評価します。たくさん質問をつくり、他の人の質問も参考にすると、5分前までの自分よりも少し賢くなった自分がいることでしょう。

《備考》
休校が明けて、本格的に総合的な探究の時間を実施。新型コロナウイルス感染症対策のように、正解がない問いに対して何をやるのかという問いを立て、「考えること」その中でも「問いを立てること」の重要性を考えてもらった

・授業2：さまざまな視点から「問い」を立てよう!

総合的な探究の時間 **さまざまな視点から「問い」を立てよう!** 年 前 氏名

前回の「『考える』」では、たくさん質問を出してくれました。「なぜ?」という問いが多かったのが印象でした。今日は、自分の「考える姿勢」を振り返って、疑問を出してあるトピックで質問・疑問・疑問マトリクスを流布し、自分自身で探究したい課題について考えてみたいと思います。

【質問・疑問マトリクス】
質問を自分で考えるという目的です。フレーム「質問・疑問マトリクス」を使って考えてみましょう。
例に、「出雲大社」というお題で、質問を考えてみましょう。

お題：出雲大社

事項 What	状況 When/Where	選択 Which	人 Who	理由 Why	手段 How
何	いつ	どこ	誰	なぜ	どう
出雲大社	10月31日	松江	中学生	なぜなら、松江は出雲大社の本拠地だから	松江に行く
出雲大社の歴史	10月31日	松江	中学生	なぜなら、松江は出雲大社の本拠地だから	松江に行く
出雲大社の文化	10月31日	松江	中学生	なぜなら、松江は出雲大社の本拠地だから	松江に行く
出雲大社の観光	10月31日	松江	中学生	なぜなら、松江は出雲大社の本拠地だから	松江に行く

いくつかの疑問を作ったあなたは、その中で「最も気になる」「もっと知りたい」と思ったものを挙げよう。『答えが簡単に決まらない(教科書に載っていない)』問いだしたら、その答えを探し、作ったことが立派な「発見」となります!

＜質問づくりのポイント＞
①できるだけ多くの質問を出す
②質問について話し合ったり、話し進ませたり、答えを言ったつもりもない
③疑問が広すぎる場合は、学校とえば「何?」など、具体的な質問に問い換えること

《備考》
考える視点を増やすため、フレーム(思考ツール:質問・疑問マトリクス)を使い、新たな問いの視点を獲得することを目的とした。
また、QFT(question formulation technique)でのオープンな質問をクローズドな質問を作る過程は行わず、優先順位をつけるプロセスを取り入れた。

・授業3：プチ探究をしよう！～KWLで考える～

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">総合的な探究の時間 プチ探究をしよう！～KWLで考える～ 年 組 氏名</p> <p>疑問・疑問マトリックスで出してもらった課題を探究してみよう！ 探究をする時に、「まあ、ターゲットを調こう！」とする前に、一体自分は何を調べべきかを明確にしたいと思います。 ここでは、情報と調べられるシグナリングツールを使って、自分が既に知っていることや知りたいと思っ ていることを整理し、「調べべき内容」を明らかにしていきます。</p> <p>(1) 疑問・疑問マトリックスから「おもしろそう」「もっと知りたい」と思ったものから一つ調べてみたい問いを書いてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <p>まっこの問いについて、みんなが知っていることもあるはず。 まずは、知っていることを出発点に、今後どんなことを知りたいのか、を明確にしよう</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;"> K What I know 知っていること </td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;"> W What I want to know 知りたいこと </td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;"> L What I learn わかったこと </td> </tr> <tr> <td style="height: 150px;"></td> <td style="height: 150px;"></td> <td style="height: 150px;"></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; text-align: center; margin-top: 5px;">KとWが書けたら、情報収集をしましょう</p> </div>	K What I know 知っていること	W What I want to know 知りたいこと	L What I learn わかったこと				<p>《備考》</p> <p>自ら立てた問いをただ調べるのではなく、知っていることやわかったことなどを整理するため、思考ツール：KWLを用い、図書館にて調査を行った。</p>
K What I know 知っていること	W What I want to know 知りたいこと	L What I learn わかったこと					

2. 2学期の取組

(1) 流れ

普通科1年生60名が町内に出向き、密状態を作ること自粛し、インターンシップを断念した。その代わり、労働の光と影として、夢追い型のキャリア教育（邑南町では、平成29年度より中学3年生と高校1年生が中高合同で、法政大学キャリアデザイン学部の児美川孝一郎氏による講演会を聞き、「夢追い型」ではないキャリアについて考える機会を設けている）ではなく、労働問題や人生100年時代（65歳からのライフプランなど）もテーマとして扱い、「進路＝どのような仕事をしたいか」とならない工夫をとった。さらに、「十人十色の生き方講座」を4回実施し、各回で地域の方や卒業生等に話していただく（合計、13名）ことで、「地域で暮らす意味」や「人生山あり谷あり」といった、自分の人生を考えるきっかけとした。この他、邑南町の産業についての説明（邑南町役場商工観光課プレゼン）、進路に関係する教科横断型の授業を实践（後述：「現代版アリとキリギリスロールプレイ」）する他、2年生が行なった「地域課題解決型学習発表会」にて審査を行なった。

(2) 教材 (ワークシート)

・授業 4: 「進路を考える」を考える

<p>総合的な探究の時間 「進路を考える」を考える</p> <p>自分の進路をどのように決めていくのか、ということについては明確な方策は多くありません(つまり、好きに決めていい)。一方、「どう考えていいかわからない」という声も聞きます。2学期のゴールは、「自分なりの進路哲学」を持つことです。「進路決定」ではありません。様々な社会問題や社会からの期待の声を聞きながら、正解がないモヤモヤした状況の中で、自分なりに回答を作っていきます。</p> <p>(準備ワーク) 「進路」についての疑問、気になっていること、知りたいことを書いてみよう!</p> <p>(1) ロール・プレイング・ゲーム (RPG) では、「職業」システムを設けているものがあります。4人パーティの中で、あなたの次の4つの職業の中から何を選びますか?</p> <p>① 戦士 戦士を一言で表すと、目の前一つで戦い、最も強い身体や道具をもち最強で、物理ダメージとしてダメージを与えてくる、強い攻撃を繰り返して相手に攻撃し、仲間を守りながら戦う!</p> <p>② 魔法使い 様々な魔法を使うことができる魔法使い。打たれぬ魔法を一番得意とする魔法使いだが、物理的なダメージを食らってはいけない。魔法を食らったダメージを受けるとダメージを回復する必要がある。パーティにダメージが入ると回復の要になる!</p> <p>③ 僧侶 僧侶は回復のスペシャリスト。回復魔法を得意とする魔法使いだが、物理的なダメージを食らってはいけない。パーティにダメージが入ると回復の要になる!</p> <p>④ 武闘家 強い魔法や攻撃魔法を得意とする魔法使いだが、物理的なダメージを食らってはいけない。魔法を食らったダメージを受けるとダメージを回復する必要がある。パーティにダメージが入ると回復の要になる!</p> <p>(2) 選ぶまでに、どのような要素が必要かを確認しよう。</p> <p>「自分の進路」を決定する際に、どのような要素が必要かを確認しよう。</p> <p>「自分の進路」を決定する際に、どのような要素が必要かを確認しよう。</p>	<p>年 組 氏 名</p> <p>準備には、世の中にさまざまな職業があり、全ての職業を体験することは難しいでしょう。では、どのように決めていけばよいのでしょうか。手がかりは「自分のこと」です。</p> <p>(3) 今の自分の興味や関心について、キーワードを探そう。</p> <p>好きな動物、好きな食べ物、好きなテレビ番組、好きな作家や俳優、好きなスポーツ、気になるニュース、好きな映画、自然、人物、趣味、特技、集めているものなど(いくつでも)</p> <p>キーワードに気付きがありそうな職業にはどのようなものがあるだろうか? 【プレスト】欄で考えろ。▶ ペアで考える</p> <p>(4) 今回は、他国的に「職業」という言葉を使って「進路」について考えましたが、果たして「進路決定」とは「職業決定」のことなのでしょうか。個人やペアで意見を書いてみよう。</p> <p>(5) 本日の授業で、学んだことや感想、気付きを書いてみよう。</p>
--	---

《備考》
 そもそも進路を考えるとは、どのように考えることかについて可視化した。

参考資料として、「しあわせに働ける社会へ」(岩波ジュニア新書) 竹信三恵子 (2012年) を抜粋し、夢が叶わなかった場合についてをイメージさせた。

・授業 5: お金と人生と自分の関係を考えよう〜幸せな生き方とは?〜

<p>総合的な探究の時間 お金と人生と自分の関係を考えよう〜幸せな生き方とは?〜</p> <p>仕事を考える上で、「やりたいこと」とをしっかり考えることは重要ですが、自分が希望する仕事に就くことが進路を考える側面でもあり得るでしょう。一方で、「お金」の側面も重要で、「進路」は「進む路(みち)」と書きます。「みち」というからには、どこかに向かって歩いていくものなのでしょう。そのゴールはどこなのか、を考える上で、「お金」や「幸せ」について考えてみましょう。</p> <p>(1) 現在のどのような社会なのかをまとめてみよう</p> <p>〜1990年代(バブル崩壊まで) 2000年代〜(特に東日本大震災以降)</p> <p>社会 社会</p> <p>特徴 特徴</p> <p>がある がない</p> <p>(2) 切っても切り離せない「お金」の問題について考えてみよう (ここからは自分の価値観を正直に考えてみてください。誰からも否定されません!)</p> <p>○あなたは、お金持ちになりたいですか? (YES / NO)</p> <p>○1万円あったら、何を買いますか?</p> <p>○100万円あったら、何を買いますか?</p> <p>○1000万円あったら、何を買いますか?</p> <p>○お金で買えないものをあげてみよう</p>	<p>年 組 氏 名</p> <p>(3) 理想の生き方から、24時間の使い方を考えてみよう</p> <p>(条件や考えるヒント) ○24時間 -労働時間+生活時間+余暇時間とします。 ○「生活時間」は取りましよう。(食、着、入浴など) ○「労働時間」の目安 ・公務員や会社員 (8:30-17:30) です。(12時から13時程度昼休憩時間) ・職業によっては通勤移動が人々の寿命があります。 ・教員は、先立に覚ましよう。 ・日常生活の場合は、自分で決めることができます。 ○労働時間が長いと給料は増える傾向がありますが、長時間労働は身体に負担がかかります。 ○通勤時間などは、住んでいる場所や働く場所によって変わります。 ○生活時間と労働時間以外の時間を「余暇時間」と言います。</p> <p>「ワーク・ライフ・バランス」を、「時間」だけで考えろ。 「労働時間(ワーク)」と「生活時間+余暇時間(ライフ)」のバランスであり、その時間をどのように過ごすのかという問題になります。これを正確に把握するために、いくらか収入が少なくなるといって、あなたがより収入だ!と思うか、多様な考え方があります。自分にとって納得し、幸せだと感じる生き方をしてください。</p> <p>(4) 本日の授業を踏まえて、進路について新しく思っていたことを書いてみよう。</p> <p>(5) 本日の授業で、学んだことや感想、気付きを書いてみよう。</p>
---	---

《備考》
 自分が幸せに生きていくためには、お金はどのくらい必要なのかに直視させ、理想の24時間を想像することで、進路を考える上での、自分の目的(何のために働くのか)について考える機会を持った。

参考資料として、東洋経済オンライン(2020年1月4日)より、声優の経済事情についてのインタビュー記事を提示している。

・授業6：人生100年時代を考える～人生は、9回裏までである～

総合的な探究の時間 **人生100年時代を考える～人生は、9回裏までである～** 年 組 氏名

皆さんはおそらく、これまでの人生の中で「夢はなあに?」「何になりたいの?」と聞かれたことは数多くあるでしょう。でも、思い出せなかったか?「いつのことを言ってるの?」。高校卒業してすぐの夢なのか、それとも20代の時の夢なのか、はたまた当時の時の安心のかによって答え方は変わってきます。時代や状況によっても変わっていくものであるからこそ、自分の中で「進路哲学」を養っていきましょう。

(1) 日本の平均寿命のグラフを見てわかることを整理しよう

○気づいたこと (不思議だと思ったこと、疑問に思ったこと) を書いてみよう

(2) 高齢者が抱える労働問題についての記事を読んでみよう。『毎日新聞』目をつらさないで「『生涯現役』の先に」の記事より一部抜粋

○自分が人生を考えるために、本誌に掲載の記事はありますか? 自分の意見を書いてみよう

(3) 人生は、9回裏までであると考えよう!

回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
年齢	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99
進路	幼少期	小学生	中学生	高校生	大学	社会人	引退	引退後	引退後

○人生の「3つのステージ」がかつてはあった

教育 → 仕事 → 引退 昔はここで終わり

しかし、人生100年時代では、引退後に「仕事」とはほぼ関わらない時間を過ごすことになる。また、「3つのステージ」は崩れ、二つや三つのキャリアを持つようになったり、引退後の人生を豊かにするために、会社以外の「人的ネットワーク」を形成する必要があるかもしれない。【LIFE SHIFT (ライフ・シフト)】より

(4) 6回裏から、どのようなゲーム運びをしていくか、そのために、いつ、どんなことに取り組むべきか、をプレストしてみよう。

(個人や考え) (他の人の意見)

(5) 本日の授業で、学んだことや感想、気づきを書いてみましょう。

《備考》

「人生100年時代」を聞いたことがあるが、100歳の自分について考えたことがない生徒がほとんどである。そこで、100年を野球でいう9回裏までであると考え、65歳引退後からの人生について考えるきっかけを与えた。参考資料として、「里山資本主義日本経済は「安心の原理」で動く」藻谷浩介・NHK 広島取材班著、角川 one テーマ 21 (2013年) を提示した

「人生は9回裏までである」という考え方は、里山資本主義著者の藻谷浩介氏による講演を参考にした。藻谷氏は、邑南町のアドバイザーでもあり、教材化についても了承を得ている。

・授業7～11：十人十色の大人たちによる生き方講座

総合的な探究の時間 **十人十色の大人たちによる生き方講座 (月 日)** 年 組 氏名

これまで、「『進路を考える』を考える」「お金と人生の関係」「目標の24時間」「人生100年時代」「現代版アリエキザリス」をテーマに、進路哲学を持つために必要だとと思われることを考えてきました。では、大人たちはどのように進路について考えているのでしょうか。大人たちからこれまでの人生を教えてもらい、進路を決めていくために必要な要素を考えていきましょう。

第1セッション担当者 さん 第2セッション担当者 さん

自分にとって大事なと思った言葉やキーワードをMEMOしよう。

自分にとって大事なと思った言葉やキーワードをMEMOしよう。

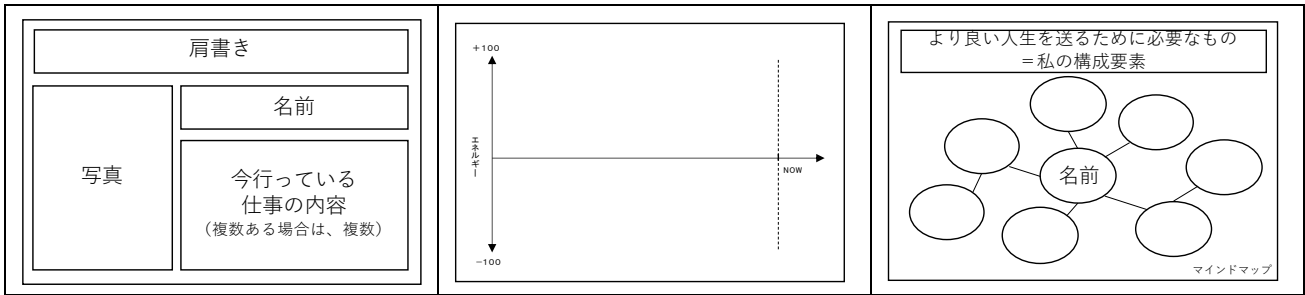
○第1セッションの感想をお願いします。

○第2セッションの感想をお願いします。

《備考》

進路は決してどんな職業につきたいかを考えるだけではないという状態で、「では、大人たちはどのように考えているのか」という疑問に答えるべく、4回合計8人(各回で2人の大人の話聞く)から人生について教えてもらう機会を作った。

・スライド 講師に用意いただいたスライドは、次の3枚のスライドで統一させた



・講師

日付	話者の所属等
11月9日(月)	地域団体所属者、高校野球監督(元プロ野球選手)、地域建設業者
11月16日(月)	お笑い芸人、ドクトレーナー、看護師/大学教員(関西圏)
12月7日(月)	公務員(邑南町役場)、病院看護師、アーティスト専門鍼灸師
12月14日(月)	国際ボランティア団体(2名)、飲食店店長、作業療法士、養護学校校長
合計	14名



3. 3学期の取組

(1) 流れ

3学期は、2年生への助走としての位置づけではあるが、新型コロナウイルス感染症の関係で、今年度も卒業式で在校生が出席できないことが判明した。卒業式という学校行事の教育的価値が損なわれると判断し、総合的な探究の時間を活用し、卒業式に出席できなくても送別するための取組（YELLプロジェクト）を考え、2年生や産業技術科を巻き込み、実行した。その過程で、課題解決に必要な視点を獲得してもらい、次年度へ生かす。

(2) 教材（ワークシート）

・授業 12：探究チュートリアル ～3年生へ送ろう、YELLプロジェクト～

<p>総合的な探究の時間 探究チュートリアル ～3年生へ送ろう、YELLプロジェクト～ 年 組 番 氏名</p> <p>●ミッション</p> <p>在校生全体で、3年生にYELL（エール）を送るプロジェクトを実行せよ！</p> <p>○サブライズ企画のため、3年生には内緒でお願いします。 ◎こっそり3年生に会う、というのはNGです。 事前にみんなで作成し、当日3年生にお披露目する、というものです。 ◎産業技術科のみんなも巻き込める（誰も置き去りにしない）ものにしよう。</p> <p>(1) YELLプロジェクトはどのような課題解決なのか、確認しよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>あるべき理想の姿</p> <p>YELLプロジェクト</p> <p>現状</p> <p>課題</p> <p>解決策</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ア) アイディアをブレスト（ブレインストーミング）しよう！</p> <p>（ブレストのルール） ・どんな意見も否定しない（あり得そうもない意見を尊重する） ・一人1回以上考えてみる（誰を大敵にする） ・楽しくチャレンジする（笑いながら、拍手しながら、盛り上げながら）</p> <p>○テーマ：昔の中にある「情報を伝える手段」をブレストしよう (例) テレビ、トランプ、信筒、郵便…)</p> <p>イ) 「やりたいこと・やるべきこと・やれること」を確認してみよう！</p> <div style="display: flex; justify-content: center;"> </div> <p>ウ) 優先順位をつけてみよう！</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>2</td></tr> <tr><td>3</td></tr> </table> </div> </div> <p>(2) YELLプロジェクト達成のための考え方（個人ワークとグループワーク）</p> <p>ア) アイディアをブレスト（ブレインストーミング）しよう！ イ) 「やりたいこと・やるべきこと・やれること」を確認してみよう！ ウ) 優先順位をつけてみよう！ エ) 企画書にしよう！ (課題) オ) チームを作って、学校全体を巻き込もう！</p> <p>みんなには、習活動や生徒会という力強い、学年や学科を超えた仲間達がいるはず。予定をキャンセルすることはもちろんですが、全校を巻き込むお断りをしてほしいのではないのでしょうか。あまり時間がありませんので、みなさんが出してくれた解決策案（2）をもとに、何をやるかを考えてみようと思います。一緒に企画・実行してみたいかなをしようかと思ったのは、小中まで、また、面白いアイデアを出してくれた人たちは声を聞けるからかもしれません。</p>	1	2	3	<p>《備考》</p> <p>探究学習のチュートリアルとして、「あるべき理想の姿」「現状」「課題」を設定し、その解決策としてYELLプロジェクトがあることを意識させた。また、プロジェクトの実行の時には、「WILL（やりたいこと）」「CAN（やれること）」「MUST（やるべきこと）」の3つの重複する部分を選択することも伝えている。</p>
1				
2				
3				

・授業 13：ふりかえり

<p>総合的な探究の時間 1年間のふりかえり～1年間のエネルギーカーブを描こう～ 年 組 組 氏名</p> <p>高校1年間はどうか？最初立てた目標は達成できたでしょうか。うまくいったこと、うまくいかなかったこと、それだけではありません。令和3年度を満ちたよう、1年振り返り、自身の成長振り返りましょう。</p> <p>(1) 1年間のふりかえり、エネルギーカーブを描こう</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(2) カーブを描いて気付いた、自分の価値観を整理しよう</p> <p>自分のエネルギーが高くなるための必要なことは…</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; height: 40px;"></div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; height: 40px;"></div> </div> <p>自分の価値観を踏まえて、次年度、どんなことにチャレンジしてみたいか</p>	<p>《備考》</p> <p>「1年間のふりかえり」では、「十人十色の生き方講座」において、講師がプレゼンした「人生のエネルギーマップ」を参考にしている。1年間で自分のモチベーションが上がった／下がった原因をふりかえり、自分の価値観を再確認、次年度チャレンジしたいことを考える内容にしている。</p>
--	--

・総合的な探究の時間（2年）

1. 年間の取組

(1) 流れ

2年次は、6月から12月までの5ヶ月を通じて地域課題解決型学習を実施した。新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、予定していたフィールドワークや地域住民との協働は行えなかったものの、オンラインでの対応や少人数での実施など、自らが行動し変革を起こすチームが出てきた。

(2) 教材（ワークシート）

・授業1：With コロナ、After コロナの時代の地域課題解決とは？

総合的な探究の時間 With コロナ、Afterコロナの時代の地域課題解決とは？

年 組 氏名

【「シヤツのデザイン」、たくさん応募してくれてありがとうございます。下記で考えたいのちうらなと「論」を議してくだい。とても興味深かったです。6月に寄る発表会を開き、御意見を決定しようと思ひますので、しばらくお待ちください。】

●チームで取り組んでみたいテーマと内容を書いてみよう

型 *もちろん、「SDGs型」で、地域に開くような内容は可能です

●3つの探究のテーマ

① 県上、田原、日野、田原一など、どこかの地域にどう寄り添ってほしい。課題解決を図ります

② 昨年度の先達たちの内容を参考に、実用化・数値化などの課題解決を図ります →全国コース連携ネットワーク


③ 産業技術科課題研究と共同で研究を行います

3つの型	①地域型	②SDGs型	③産業技術連携型
チャレンジ	昨年度の地区別戦略の取り組みを基ながら、関わってみたい地域を選んでみよう	昨年度の未来フォーラムの内容を基ながら、継続したい（新しく始めたい）ものを選んでみよう	【農業・畜産・工業】で取り組むたいこと、思ふことを考えてみよう
メモ いろいろ 考えて みよう			
参考資料	別紙参照	昨年度の内容については下記通り -川の水をきれいにするには -オオサンショウウオを増やすには -失火・虫害等によると納税で協力に -私は水をどう利用したいのか -環境に良いせっけん作り -畜産物の水質を調べよう！ -気候を変えよう -川の水を飲めるきれいな水にするには -生物を増やそう -私たちの町の土壌について -ほっこりする養殖 -体温調節を下げる水 -紙質の質と印刷の未来 -川の汚染を防ぐ -水の質と水質 -資源を有効活用した水のろ過装置	-畜産対策 -畜産中プロジェクト などが展開して取り組まれているが、詳しくは、2年生産業技術科の先生や先生に聞くのがよい！

《備考》

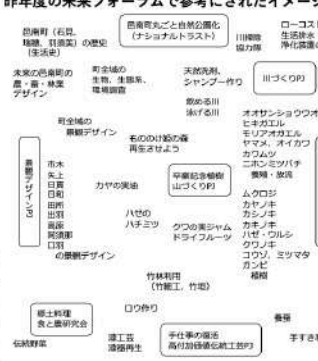
①地域型②SDGs型③産業技術科連携型の3つの中からチームで選択する方法をとった。地域型の参考として、邑南町地域みらい課が実施している「地区別戦略事業」の報告書をもとに、興味があることを列挙してもらった。SDGs型は、令和元年度に実施した探究学習の引き継ぎとして設定した。また、学科横断のプロジェクトも良いとして、邑南野菜の取組や石見和牛の取組を紹介した。

SDGs型の参考資料



ブース内容	登録名
1 川の水をきれいにするには	土田東人、有井次朗、下橋このみ、埴谷高規
2 オオサンショウウオを増やすには	長谷川院、牧原寛は、東原裕輝
3 失火・虫害等によると納税で協力に	船高健行、南原志穂美、野上雄一、日野研太郎、石橋康、森田雅典
4 私は水をどう利用したいのか	原立貴一
5 環境に良いせっけん作り	山崎菜々、植田紗弥香、森田白葉
6 畜産物の水質を調べよう！	外山朋子、藤本花江、田中芽衣、山崎結々
7 気候を変えよう	三上梨月、土佐悠紀人、日笠真琴、石橋康、土田かのり
8 川の水を飲めるきれいな水にするには	元木謙、田中尊品、林佑美子、森田すみれ
9 生物を増やそう	形川太陽、大塚海斗、三浦千絵
10 私たちの町の土壌について	堀野悠斗、田中順美
11 ほっこりする養殖	新藤史夫、新川敦彦、立原分裕
12 体温調節を下げる水	高田祥次、寺本美花、日野心菜、山口桃人
13 紙質の質と印刷の未来	神田博樹、新川東夏、白須玲奈、赤濱有実、寺本家佳
14 川の汚染を防ぐ	竹内梨康、石塚希志、三浦七夕、長山梓樹
15 水の質と水質	橋本まいる、石田智也、大塚唯真、橋本一輝
16 資源を有効活用した水のろ過装置	小形拓海、高橋共也、乙原悠聖

昨年度の未来フォーラムで参考にされたイメージ図



邑南町（石見、隠岐、佐賀実）の歴史
邑南町立自然公園化（サシヨナルトランド）
川崎町 協働ラボ
ローコスト 生活排水 浄化装置の導入
オオサンショウウオ ヒキガエル モリアケカエル ヤマメ、オイカワ カワムツ ニホンツツシ 養殖・放流
ムロロシ カサノホ カサノホ カサノホ ハゼ・ワカシ コロシ ミツマタ カサノホ 福寿
オオサンショウウオ増やすには
失火・虫害等によると納税で協力に
私は水をどう利用したいのか
環境に良いせっけん作り
畜産物の水質を調べよう！
気候を変えよう
川の水を飲めるきれいな水にするには
生物を増やそう
私たちの町の土壌について
ほっこりする養殖
体温調節を下げる水
紙質の質と印刷の未来
川の汚染を防ぐ
水の質と水質
資源を有効活用した水のろ過装置

*裏面には、昨年度の内容を紹介している

・授業2：自分たちが取り組むテーマを決めよう

総合的な探究の時間 **自分たちが取り組むテーマを決めよう** 年 組 氏名

1. 探究のイメージを作る
 2週間かけて、市の高校の取り組みをみたり、先生方から意見を聞いたりしながら、探究するイメージを作りましょう。
・長野県のDEE長崎高校の取り組み：資料+プレゼン（11チーム分）
 地域は違いますが、同じように地域に入らなくて地域を好きになりながら、課題解決に臨んでいます。最終的に皆さんに持ってもらう「資料」や「プレゼンテーション」も参考にしてください。

2. 取り組むテーマを決める
 6月15日（月）15:30~16:00に、地域の人々や産業技術科と話す機会を設けました。（WEBを使った会議の可能性もあり）
 もしかすると、希望する地域ではないかもしれませんが、「地域型」希望の方は良い機会なので、「こんなことできませんか？」などアイデアを伝えてみましょう。

●3つの探究のテーマ

①地域型
 ②SDGs型
 ③産業技術科連携型

➡

テーマを決める！
 _____ 型

◆今できること！ KWLシートを活用し、図書館で調べたり、先生方に話を聞いてみよう

K What I know 知っていること	W What I want to know 知りたいこと	L What I learn わかったこと	W What I want to know 知りたいこと

INFORMATION & IDEA

- 地域に連絡したところ、「失礼」「日頃」「高誤」「非課税（曹井の里）」「出町」が、みんなと連絡したいと手をあげていますが、新型コロナウイルスの関係で、「履しかなかった」ところもあるからしれません。他の地域も連絡することは可能です。
 <15日の予定>
 失礼：公開前でお話が可能です
 非課税：公開・出町・WEB会議で話が可能です
 出町：予約にきてください
- 校長先生から意見 「決心をなんとかできないか」「決意を伝える？ ビデオテープ？ イルミとかできるかも？」「産業技術科と連携？」
- 産業技術科は、本日田舎先生から課題研究で何をしたいかを聞くことができます（7時限目）。15日には、課題研究に取り組む生徒たちにアゲを授けておられ、話を聞けるように準備しよう
- 田舎取といえど、フィンランド、A級グルメ、日本の子育てで、ハンズなどが、悪い癖かぶかもしれません。
- SDGsのこと、なんとなんとはなく、きちんと調べてみてほしいかもしれません。

《備考》
 各チームが取り組んでみたいことを紹介し、改めてどのテーマに取り組みたいかを決めた。また、地域からの声や校内での声を「Information」として掲載することで、より実現可能性が高まるのではないかと考えた。

前回の授業で出てきた皆さんが取り組んでみたいと書いてもらったテーマを列挙します。みんなの興味を知っておこう！ 赤字数字があったらすみません…

空き家を利用してカフェを作る、リフォーム、カフェで農産物販売利用 熱帯気候大作戦！！、移動販売車、平成もみじ谷構想	「市水」カーシェアリングという活動について他の地域でもやるのもありだなと思う 「SDGs」川の水をきれいにするには、川の水を飲むの綺麗な水にするには、川の汚染を防ぐ、などの活動は続けていくといいなと思う 「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
「地域」日買+ターンのための空き家を排除人口増加につなげる 「SDGs」川の汚染を防ぐ、川を汚さない差別があったら良いなと思った 「農業」一人一から野菜を育てたい家の畑があるので、そこで育てる物を増やしたい	「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
地域課題、お祭りの認知度、観光スポット 日買、高齢化、農産物全体、森、川 島田町、高齢比率、日買、ターン、森林の活用	ドローン等も活用して、写真・映像を撮影し、ドローン研修に参加し、ドローンに関する基礎知識の習得、ドローンによる航空写真、動画を撮影し、地域を上空から見た映像・映像を地域住民と共有 「SDGs」川の水を綺麗にするには：微生物を食べる生物を増やしたり、ボイ捨てなどをしないようにする。 「農業」草刈り、やりなれているから 「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
空き家、宿泊施設、ツアー、物産、町内の課題	「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
「日買」地産の長や物などを扱った事業が多く、興味を持った。 「失礼」島田町にあることと特産品を持って、町を視察することはとても素敵だと思った。 「農業」田んぼや畑の手伝いをしていたので、少し興味がある。野菜を育てたい。 島田町の水質を調べ、フィンランドとか外国に発信する 水泳で、少子高齢化、外来種、池の水を全部抜く、餃子、祭り	「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
「矢上」観光できるところを作る、お店とか地域の特産品を使った飲食店を作る、やまばの存在を知らせる、やまばの魅力を大きくする 「SDGs」川の水をきれいにする、川の水を飲むように綺麗にする	「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする
「日和田地区の観光振興、花火打上げ」このイベントをもっとPRして、色々地区もしくは県外から人を集めてもいいと思った。次の日の昼まで泊まった人に対して日和田地区をPRできるイベントがあったらいいと思います。 「川の汚染を防ぐ」川の汚染を防ぐことで、オオサンショウウオを守る取組や私たちが何をできるかなんか考えるきっかけにすること。 「農業」自分で育てられる野菜があったら面白いと思った。	「市水」畜再生事業 定期的にイベントを開催して消費を民泊施設として活用、ライブだけでなくワークショップや物産物などの販売を希望 「SDGs」どんなアレルギーを持つ人でも食べられるお菓子、空き家を海産してリターンする人を増やす 「農業」農産物をもっと多くの人に知ってもらうためにその野菜を使用した料理を振る舞ってアピールする

裏面には、各チームが列挙したやってみたいことを載せている。

・授業3：地域の方々から話を聞こう！

<p>総合的な探究の時間 地域の方々から話を聞こう！ 年 組 氏名</p> <p>今回のKWLシートを活用しながら、知りたい情報を聞き出そう。地域が決まっている人は、その地域の話を聞こう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>地区名</th> <th>会場</th> <th>形態</th> </tr> <tr> <td>出羽</td> <td>2-1</td> <td>WEB会議</td> </tr> <tr> <td>高野</td> <td>2-2</td> <td>WEB会議</td> </tr> <tr> <td>日置</td> <td>図書館</td> <td>WEB会議</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>北上公民館</td> <td>対面（訪問）</td> </tr> <tr> <td>井原</td> <td>図書館</td> <td>対面（来校いただきます）</td> </tr> </table> <p>「先心紙」や「建築技術科との連携」に取り組みたいと考えている方も、地域の方々の話を聞きましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> <tr> <td>15:30～15:35</td> <td>移動</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>15:35～16:00</td> <td>インタビュー</td> <td>各場所</td> </tr> <tr> <td>16:00～16:10</td> <td>情報共有</td> <td>自教室</td> </tr> </table> <p>＜地域をみる視点のヒント＞</p> <p>私たちは、しばしば「何ができるか」というコンテンツに注目しがちです。先入観に囚われず、広く、地域をみるために、次の4つの視点から考えてみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>地学</p> <p>地形、地質、地帯、山、海、川など</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>気象</p> <p>天気、日照時間、風、降雪量、降水量、気温、気圧など</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>動植物</p> <p>動物、植物、鳥、魚、昆虫など</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>人間社会</p> <p>建物、文化、祭り、物、生活文化、人、家族、産業 など</p> </div> </div> <p>私たちが暮らす地域には、山や川、土地などの自然環境があり、そこに気候や気象があり、その環境に適応してきた植物や動物が生きています。そこに食糧や安全を求めた人々が暮らすようになり、社会・文化が生まれ、現在の形になっています。</p> <p>現在の私たちの暮らしは、元々は自然環境、植物、動物からの恵みで、暮らしが成り立っていました。</p> <p>少子高齢化といった課題についても、この4つの視点を踏まえて考えなければ、無限が生じることになるでしょう。（例えば高齢者でパソコンができればいいといった意見はなかなか持続可能ではないでしょう。）</p> <p style="font-size: small;">※ここで共有できるように、メモをとって持ち帰ろう</p>	地区名	会場	形態	出羽	2-1	WEB会議	高野	2-2	WEB会議	日置	図書館	WEB会議	北上	北上公民館	対面（訪問）	井原	図書館	対面（来校いただきます）	時間	内容	場所	15:30～15:35	移動	—	15:35～16:00	インタビュー	各場所	16:00～16:10	情報共有	自教室	<p>《備考》</p> <p>本来はフィールドワークを実施し、地域の情報を知る機会だったが、前述の通り、オンラインや来校いただく形でインタビューを行なった。また、近隣の公民館も使用し、三密を避けながら、情報獲得を行なった。</p>
地区名	会場	形態																													
出羽	2-1	WEB会議																													
高野	2-2	WEB会議																													
日置	図書館	WEB会議																													
北上	北上公民館	対面（訪問）																													
井原	図書館	対面（来校いただきます）																													
時間	内容	場所																													
15:30～15:35	移動	—																													
15:35～16:00	インタビュー	各場所																													
16:00～16:10	情報共有	自教室																													

・授業4：地域の方々から聞いた情報を整理し、何をするか考えよう！

<p>総合的な探究の時間 地域の方々から聞いた情報を整理し、何をするか考えよう！ 年 組 氏名</p> <p>(1) 先日聞いた情報を共有し、整理して、何に取り組みかを考えてみよう！</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>(2) 自分たちが行いたいプロジェクトのゴール「誰に、どんな情報を提供したいか」を書いておこう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>誰に（どんなことに困っている人か）</th> <th>どんな情報を提供したいか（楽しんでほしいのか）</th> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> </tr> </table> <p>●嬉しい人は、「こんなことをしたい」というアイデアを書いてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p>(3) 課題終了後、(2)のために、7月の間に行いたいこと（To Doリストの作成）を書いておこう。 *書いてもらったことを踏まえて、授業の時間を増やすなどの取組を行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>何をする／何をしたい？</th> <th>誰が</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td></tr> </table>	誰に（どんなことに困っている人か）	どんな情報を提供したいか（楽しんでほしいのか）			何をする／何をしたい？	誰が	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		<p>《備考》</p> <p>前授業で獲得した情報をもとに、改めてプロジェクトのゴールを決めてもらい、準備として何ができるかを考えてもらった。特に、夏休みの計画について話し合っ決めてもらった。</p>
誰に（どんなことに困っている人か）	どんな情報を提供したいか（楽しんでほしいのか）																										
何をする／何をしたい？	誰が																										
1																											
2																											
3																											
4																											
5																											
6																											
7																											
8																											
9																											
10																											

・授業5：企画書（修正案）を作ろう！

総合的な研究の計画 企画書（修正案）を作ろう！ 組 チームメンバー

①企画書タイトル

例) ①高齢者はスーパーがなくて困っているし、賑わいが無い(課題)
 ②賑わいを取り戻し、笑顔があふれる街にしたい(理想)
 ③理想状態にするため、自分たちは高校生スーパーを企画する(企画) という論理です

②現状・課題

③理想状態(課題解決した後の理想状態)

④企画内容

いつ	
どこで	
誰を対象に	
何を	

⑤企画実行のための準備

- ・9月の予定
- ・10月の予定
- ・11月の予定
プレゼン準備
大学でのプレゼン
- ・新型コロナウイルス感染対策

《備考》

情報を整理し、一枚企画書を作成した。現状やゴール、課題解決のためのアクション、そのための準備などを考えてもらった。

この企画書をもとに、立命館大学の大学生や教授からフィードバックをもらった。

・授業6：再確認！プロジェクトの重要ポイント！

総合的な研究の計画 再確認！プロジェクトの重要ポイント！ *各チーム1枚です 組 チームメンバー

○常に確認すべき4つのポイント

現状	現状どうなっているか
理想	どうありたいか/どうあってほしいか
ギャップ	理想に至っていないのはなぜか 何が問題なのか
アクション(企画)	ギャップを埋めるために何ができるか

○プロジェクトの進み具合
今、自分のチームほどの段階？

現状把握 → 理想状態の設定
ギャップの把握(現状分析) → アクション(企画)実施 → 振り返り
アクションの検証

まとめ
伝えたいこと

発表

○今後のスケジュール

いつ?	
何を?	
どこで?	
誰と?	

*裏面はカレンダーになっています
今後の予定を書き込んでください！

《備考》

中間審査を経て、プロジェクトの現状を把握するため、今後の流れやスケジュール確認を行なっている。

この後は、各チームの進捗具合によって土日に地域で実践する、地域に出向き再度インタビューや動画撮影を行うチームがいた。

・その他資料：総合的な探究の時間 発表様式について

総合的な探究の時間 発表様式について

1. 発表資料について

①レポート（ワード）

②プレゼンテーション（パワーポイント） の2種類を作っています。
Google Document を利用し、PC・スマホ・タブレットで編集可能です。

①レポート（ワード）

- ・「～です」ではなく、「～である調」で書くこと。「～だった。」や「～した。」など
- ・以下の項目を必ず書くこと。なお、以下の項目以外にあれば新しく項目を作り書くこと。
- ・必要に応じてエクセルでグラフを作成し、ワードに貼り付けをする。
- ・フォントサイズ：10.5ポイント/用紙サイズ：A4

●研究タイトル

●メンバー集合写真・メンバー・担当教員名・ご協力いただいた方々

- はじめに
 - ＊フィールドワークした地域の情報や研究動機を記載する
- 研究課題
 - ＊フィールドワークを通じて感じた課題や課題解決のために何をしようと考えたのかを記載する
- 研究経過
 - ＊表を作成し、わかりやすくすること
- 研究内容
 - ＊実施したことや企画内容を記載する。
 - 長くなってもいいので、アンケート結果などをグラフなどで表示する。
 - ＊研究内容が複数ある場合は以下のようにする
- 研究内容
 - (1)・・・
 - (2)・・・
- 考察
 - ＊研究によって明らかになったことを示す。課題解決できたかどうか記す
- 今後の課題
 - ＊やってみてできなかったことや考察によって見えてきた課題を明確にする
- おわりに
 - ＊感想などを記載する

●活動の様子（写真と説明）

③プレゼンテーション（パワーポイント）

スライドは、レポートの内容に促しながら、下記のことを参考に作成すること。

研究タイトル 集合写真 メンバー（フルネーム）	1. はじめに 箇条書きで記入する	2. 研究課題 シンプルで わかりやすく	3. 研究経過 表を使い わかりやすく
4. 研究内容 (1)・・・ (2)・・・	5. 考察 図表や写真等を 活用し説明する 自分の考えを示す	6. 今後の課題 次年度を見越した 計画を発表する	7. おわりに 感想を述べる

伝えることが目的になってはいけません。伝えることが目的になります。
レポートを読み込めば良いのですが、時間が限られているので、うまくまとめて、伝えるために必要な書き方や見せ方に注意しましょう。

・その他資料：課題解決型学習発表会 評価シート

課題解決型学習発表会 評価シート

下記の評価シートに基づいて、点数をつけてください。

項目		配点	1	2	3	4	5	6	7	8
発表内容 (30点)	持続的・安定的な地域(学校)環境や地域創造に配慮した内容、または地域(学校)の課題解決に繋がる内容となっているか	10点								
	発表内容は精選され、成果は論理的・客観的に検討されているか	10点								
	意見が具体的に説得力があり、建設的であるか	10点								
	小計									
発表方法 (30点)	発表方法や態度は適切であったか(発表中の特別なパフォーマンスを評価するものではない)	5点								
	意見は分かりやすく、聞き手によく理解されたか	15点								
	質疑に対して、適切な回答ができていないか	10点								
	小計									
	合計									

○最も得点が高いチームを記入してください。

番号

MEMO

発表を聞いて、自分が感じたことや学んだことを書いておこう！

発表タイトル	コメント
1 出羽の魅力を再発見するために	
2 おいでよ 吾木の森公園	
3 洗心館を魅力的にしよう	
4 バリアフリーを目指して	
5 本来の自然を取り戻そう	
6 空き家を使って物々交換！	
7 日置×西条ドリームプロジェクト	
8 恵食万命 ーフードロス削減への第1歩ー	

全体

年	組	番号	名前
---	---	----	----

産業技術科の「課題研究発表会」や「農業クラブ発表会」で用いられる評価と同じ形式である。

・その他資料：フィールドワーク時のワークシート

FIELD NOTE		年 期 名 前			
日 付:	活動場所:				
関わった人					
●メモ：フィールドワークで感じたことやインスピレーションしたことをメモしよう					
●感想：気づいたこと／不思議に思ったこと／困っていること など					
●次回、何をしようと思ったか					
★自己評価【1→できなかった 2→あまりできなかった 3→普通 4→まあまあできた 5→とてもできた】○をつける					
① 積極的に取り組むことができたか	1	2	3	4	5
② 地域の人と自分の考えを伝えたり、表現したりできたか					
③ 地域の人とコミュニケーションをとることができたか					
④ 日グループの今後の活動につながるような話し合いができたか					
※出：内容及び提出状況によって、授業の評価を行うため、終了時に提出に提出すること。					

・授業7：1年間のふりかえり～やってきたことを整理しよう～

総合的な探究の時間		1年間のふりかえり～やってきたことを整理しよう～		年 組 氏 名	
1年間、地域や他校関係の課題に注目し、課題解決のための実践を行ってきました。探究の終わりは、自分で決めるもので、これから先の人生で取り進んでもらっても構いませんが、授業時間として行うのは、これで終わりです。お疲れ様でした。					
《本日のこと》		(3) 自分の変化についてまとめてみよう (内容のため、グループで確認してもOKです！)			
1. やって来たことを振り返り、学びを整理しよう (2. お世話になった人にお礼状を書こう)		「意思・役割・能力」でまとめてみよう！			
(1) 「やって来たことを振り返る」とは					
■構造					
項目	詳細				
1. 研究内容について	<ul style="list-style-type: none"> 《目的》なぜ、いつ、どこで、だれが、なにをしたのか 《結果》研究によって、どうなったか(目的は達成したか) プレゼンテーションの内容をベースに、研究内容を簡単に述べることでできるようにしよう。				
2. 自分の変化について	<ul style="list-style-type: none"> 《役割》研究では、自分は何を担い、何をやったのか 《学び》研究を通して、何を学んだのか、どうしたいと思ったか リクエシートに基づいて、さまざまな観点から自分について振り返り、みよう(※これを「内省する」といいます)				
(2) 研究内容についてまとめてみよう (グループで確認してもOKです！)					
《なぜ》なぜ研究したの？ (動機や目的)		《意思》 どのような地域(世の中)にしたいと思ったか			
《いつ》いつ研究したの？		《役割》 チームの中で、どのような役割を担ったか			
《どこで》どこで研究したの？		《能力》 どのような能力(知識やスキル)が身についたか			
《だれが》誰が研究したの？ 誰と研究したの？					
《何を》どんな研究をしたの？					
《結果》(結果) どうなった？					
		※今は、○□力など、単語で表現できなくてもOKです。具体的に書いてみましょう。一つだけなくてOKです。 本で行ったことは、志望職種作りにも活かされるはずですが、自分の志望校や志望する道路を見据えて《意思》《役割》《能力》を考えてもいでしょう。 ※例：全体の課題に、Google Classroomに「ふりかえり」の課題を出しておりました(4名の分目書き「お礼」)。皆さんがどのようなことを学んだのか、ぜひ教えてください。また、最後に、大学入試の情報を載せています。時間がある時、見てみてください。			

《備考》
ふりかえりは、5W1Hに従って事実を振り返り、自身の成長を図るため「意思・役割・能力」の3つの視点から、それぞれ振り返った。

コラム

さまざまな大学の総合型選抜の入試問題で、「課題解決型学習」について問われている

令和3年度へるん入試（へるん特定期）地域志向入試

氏名

地域志向レポート

地域について、どのような課題があり、どのような解決方法が考えられるか、その解決に向けて自分がどう関わっていくかを、現在考えていることを具体的に文章で記入してください。

（鳥根大学 令和3年度へるん入試（へるん特定期）地域志向入試）

課題解決型学習

地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を利用します。

【プレゼンテーションのテーマ】
「地域づくりに関して、これまで取り組んできたこととそこで得られた学びを示してください。それを踏まえて、本入学後にどのような学びを得たいと考えていますか。あなたの考えを示してください。」

プレゼンテーション要綱

（注1）プレゼンテーションは自由形式です。発表方法や形式により事前に申告する必要があります。

（注2）パソコン、プロジェクター、スクリーン、裏書きタブレットは大学が提供します。

（注3）図表の作成ソフトは、プレゼンに使用するための資料やデータの抽出ソフトを利用します。詳細は、受験要綱とあわせてご確認いただけます。

（注4）大学のパソコンを扱う場合は、持ち込みデータは Windows OS の Microsoft Office 家族 (Word, Excel, PowerPoint, Adobe Acrobat Reader) のいずれかを動作環境としてください。

（注5）上記（注3）（注4）（注5）は、ご確認の上、ご自身の環境に合わせてご申告ください。【持ち込みデータ】の準備が済んでいる場合は、大学はその準備が済んでいるか、パソコンを駆使したプレゼンテーション資料を、面接の前夜に届けていただくこととなります。

（注6）上記（注5）とは別の特典がある場合は、ご留意ください。

（令和3年度鳥根県立大学 地域政策学部学校類型選抜 地域づくりコース）

書式A [課題解決型学習]に関する調査書 [A4判4枚印刷]

氏名

受験番号

（個人用紙に記入してください）

以上の課題解決型学習の学習について、あなたの見方や考え方をもちきり、思いやりのもった文章で記入してください。

課題解決型学習の成果、授業の感想（A4判2枚印刷）

学習成果の振り返り

授業の感想

学習成果の振り返り

授業の感想

学習成果の振り返り

授業の感想

（大分大学 令和3年度経済学部総合型選抜調査書）

裏面には、総合型選抜にて、探究学習の内容が問われていることを示し、振り返りの重要性を伝えている。

* Google Classroom を活用し、ふりかえりやスライド作成を行なった。

(3) 生徒の発表内容 (スライド)

○研究名：出羽の魅力再発見するために

<p>出羽の魅力再発見するために</p> <p>出羽の魅力再発見するために</p> <p>出羽の魅力再発見するために</p> <p>出羽の魅力再発見するために</p>	<p>はじめに</p> <p>・私たちが取り組む理由は・・・</p> <p>出羽</p> <p><人口>・・・314人</p> <p><世帯数>・・・95世帯</p> <p><面積>・・・約5,000㎡</p> <p>出羽の地図</p>	<p><出羽を選んだ理由></p> <p>1. 建物、食べ物が充実している。</p> <p>2. 自然がとてもきれいだ。</p> <p>より多くの人に 出羽と言う場所、出羽の魅力を知ってもらいたいと思った</p> <p>出羽の風景</p>	<p>研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で小学生が集まれない ・出羽に住んでいる人同士の交流が減ってきている（コロナの影響） <p>↓</p> <p>・少人数でも人同士の交流ができる場を作る ・出羽の魅力を知ってもらう</p>										
<p><出羽をPRする方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出羽でピザ講座 ⇒出羽の野菜を使う ・出羽の動画を撮ってSNSで発信する ⇒100人以上の人に見てもらおう 	<p>研究内容</p> <table border="1"> <tr><td>5月</td><td>リポート提出</td></tr> <tr><td>6月</td><td>県内に設置されたピザ講座</td></tr> <tr><td>7月</td><td>県外に出羽をPRする</td></tr> <tr><td>9月13日</td><td>出羽でピザ講座</td></tr> <tr><td>10月</td><td>出羽の魅力再発見</td></tr> </table> <p>ピザ講座の際にはわんぱく学校の野菜を使いました。</p>	5月	リポート提出	6月	県内に設置されたピザ講座	7月	県外に出羽をPRする	9月13日	出羽でピザ講座	10月	出羽の魅力再発見	<p>わんぱく学校とは・・・</p> <p>出羽の小学生が地域の方と一緒に作っている畑</p> <p>野菜の種類はとても豊富!!! 面積はとても広い!!!</p>	<p>わんぱく学校の畑</p> <p>出羽の風景</p> <p>出羽の風景</p>
5月	リポート提出												
6月	県内に設置されたピザ講座												
7月	県外に出羽をPRする												
9月13日	出羽でピザ講座												
10月	出羽の魅力再発見												
<p>研究過程</p> <p>・学校での準備</p> <p>・試作</p> <p>研究の準備</p> <p>試作の様子</p>	<p><準備をして気づいたこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピザ生地は家で作るとべたつく、こねにくい ・パサパサした食感で美味しくない ・分量の調整が大切 <p>↓</p> <p>親子で作るのは難しい</p>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニール手袋をつけて作業してもらおう ・載せる具以外は、あらかじめ測ったものを渡す ・レシピを配布する 	<p>レシピについて</p> <p><レシピを作った理由></p> <p>イベント後もまた作ってほしいと思った</p> <p><工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまく作るための注意点を書く ・オープンでの調理法を書く (家でも作れるように) 										
<p>ピザ講座当日</p> <p>1. 日時：9月13日（土） 10時スタート</p> <p>2. 人数：親子5組（13人） スタッフ10人</p> <p>3. 場所：青少年旅行村</p> <p>ピザ講座の様子</p>	<p>・ピザを焼く窯</p> <p>・完成したピザ</p> <p>ピザを焼く様子</p> <p>完成したピザ</p>	<p>活動後、参加者全員にアンケートを取りました。</p> <p>～アンケートの結果・感想～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の絆が強まった。 ・出羽の地域の人と交流ができた。 ・高校生とも交流でき、とても楽しかったです。 ・家でもやってみようと思った。 	<p>ピザ講座がうまくいった</p> <p>↓なぜ?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に行ったので暑すぎず快適にできた ・親子で協力しないと作れない活動を考えた ・高校生が各テーブルを回り教えた <p>↓結果</p> <p>親子や高校生との交流ができた</p>										
<p>ピザ講座の振り返り</p> <p>ピザ作りが成功!!</p> <p>→人が集まるという目標に達していない</p> <p>そこで...SNSを活用!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出羽の景色やご飯などを撮り、SNSにアップする →出羽の魅力をたくさんの人に知ってもらおう 	<p>浜田商業高校の動画を参考に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 コロナで鳥根県浜田市に帰省できなかった人 ・内容 浜田市内の風景撮影 	<p>私たちが作る動画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 コロナで出羽に帰省できなかった人 田舎に興味がある都会の人 ・内容 出羽の風景 出羽の人のインタビュー 	<p><動画内で出羽の魅力を知ってもらう方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像にナレーションや文字をつける ・出羽の人にインタビューをさせる（出羽の良さを聞く） ・自然だけでなく遊ぶ所や食べ物も撮影する 										

<p>動画を第一弾と第二弾に分けて投稿する</p> <p><第一弾></p> <ul style="list-style-type: none"> 出羽の風景（自然、建物など） ⇒2021年1月中旬に投稿(目安) <p><第二弾></p> <ul style="list-style-type: none"> 出羽の方へのインタビュー 出羽の風景 ⇒2021年3月中旬に投稿(目安) 	<p>最終的なゴールは！！！！</p> <ol style="list-style-type: none"> 都民の方へ、出羽を知らない方に 少しでも出羽に来てもらう！ コロナの影響で出羽に帰ってこれない人に 動画を見てもらう！ 多くの人に出羽の魅力を知ってもらう！ 	<p>最後に</p> <p>～ビデオ講座の感想～</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座は大変だったけど、良い勉強をやらせてくれた。 少し豪華な思い出があったので、役職等をしっかり決めて良かった。 <p>～動画制作の感想～</p> <ul style="list-style-type: none"> 高木様の白で撮影したのが動画が少し綺麗になった。 スマートフォンで撮影した分、手振れが多くなり少し悪くなった。 	
--	---	---	--

○研究名：おいでよ香木の森公園

<p>おいでよ香木の森公園</p> <p>和田康佑 河手風雅 森脇幹美 日野織 有田様夫 森口隆斗</p>	<p>1.はじめに</p> <p><活動の経緯></p> <p>取り組む研究テーマ「地域型」</p> <p>町内外のターン・Uターン者」「空き家問題」</p> <p>「医療費の免除」「若者層の故郷疎遠」</p>	<p>1.はじめに</p> <p>各項目から絞り...</p> <p>香木の森</p> <p>主に観光客数の増加、知名度の向上を目的とした取り組みで、地域と連携して子育てに対する支援。</p> <p>↓</p> <p>地域活性化へ</p>	<p>1.はじめに</p> <p><研究テーマ></p> 														
<p>1.はじめに</p> <p>(研究テーマのきっかけ)</p> <p>子育ての発展を掲げている邑南町には、子供の遊べる施設が目立ってない(約14箇所のみ)、また町全体では町内外の観光客が年々減少しているという課題も挙げられている。香木の森を中心とした子供達の遊び場と観光の2観点から町おこしとなるような企画で地域活性化に貢献したいと思い、この研究テーマとした。</p>	<p>1.はじめに</p> <p><香木の森の観光事業と観光客の推移></p> <ul style="list-style-type: none"> ハープ園が廃業、オーガニック公園の有無無場。 ボランティアの受け入れは現在していない。(インターンシップ?) 	<p>1.はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内の草刈り、街路樹の整備と歩道清掃(泉の里と協働) ブルーベリーの摘み取り体験 クラフト体験 ハープガーデン、グリーンハウス体験(講師指導) 	<p>1.はじめに</p> <p>▼来場者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>来場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>103,762</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>92,000</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>82,184</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>83,768</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>75,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲来場者数のグラフ</p>	年	来場者数(人)	2015	103,762	2016	92,000	2017	82,184	2018	83,768	2019	75,400		
年	来場者数(人)																
2015	103,762																
2016	92,000																
2017	82,184																
2018	83,768																
2019	75,400																
<p>2.研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 香木の森公園の調査 パンフレット イベント 看板設置 	<p>2.研究課題</p> <p><公園></p> <p>香木の森の開設遊具 →木造のため劣化が見られ一時は使用禁止に</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性に配慮された遊具が必要。遊具改善は来場者数増加にも繋がる見込みがあると考えた。 <p>↓</p> <p>新設遊具を設置した自然公園を作る</p>	<p>2.研究課題</p> <p><パンフレット></p> <p>Q:香木の森公園一帯では何が出来るのか?</p> <p>現状)周辺施設の概要を知らない人も少なくない</p> <p>↓</p> <p>高校生プロデュースのパンフレットを作り、香木の森公園一帯の過ごし方を提案する。</p>	<p>2.研究課題</p> <p><イベント></p> <p>高校生が香木の森でイベントを開催</p> <p>→ラベンダーの摘み取り体験などが定期的にある</p> <p>↓</p> <p>今までにないイベントを行ない直接的に来場者を集める</p> 														
<p>2.研究課題</p> <p><看板></p> <p>香木の森公園へのルート</p>  <p>→立地が高く徒歩で足を運ぶ人は少なく、自動車での来場がほとんど。</p> <p>→公園までのルートを確認させることで来場者増加</p> <p>↓</p> <p>目印となる場所に看板を立てる</p>	<p>3.研究経過</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>企画書作成 地域の方との連携共有会</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>香木の森(観光協会)へ訪問</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>フィールドワーク(香木の森)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>立命館大学と活動</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>フィールドワーク(香木の森、原山産果ロード)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>後援訪問 写真撮影 パンフレットの原案作成</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>発表準備・発表</td> </tr> </tbody> </table>	6月	企画書作成 地域の方との連携共有会	7月	香木の森(観光協会)へ訪問	8月	フィールドワーク(香木の森)	9月	立命館大学と活動	10月	フィールドワーク(香木の森、原山産果ロード)	11月	後援訪問 写真撮影 パンフレットの原案作成	12月	発表準備・発表	<p>3.研究経過</p> <p><ご協力いただいた方々></p> <ul style="list-style-type: none"> 大橋さん(邑南町生涯学習課長) 三上さん(邑南町生涯学習課) 村田さん(邑南町観光協会専務理事) 尾谷さん(邑南町商工観光課) 	<p>4.研究内容</p> <p><香木の森遊具の実態調査></p> <p>7/19(日)</p> <p>- 香木の森公園遊具整備事業子育て世代見直し交換会 -</p> <p><遊具についての話し合いに参加></p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者17名程 会場と子育て世代を交えた状況説明・意見交換 
6月	企画書作成 地域の方との連携共有会																
7月	香木の森(観光協会)へ訪問																
8月	フィールドワーク(香木の森)																
9月	立命館大学と活動																
10月	フィールドワーク(香木の森、原山産果ロード)																
11月	後援訪問 写真撮影 パンフレットの原案作成																
12月	発表準備・発表																
<p>4.研究内容</p> <p>1.町の整備方針の流れ</p> <p>→遊具整備に関する説明</p>  <ul style="list-style-type: none"> 手洗い場 親の休憩場(屋根付き) 自由に子供が遊ぶ、安全性の高い遊具 	<p>4.研究内容</p> <p>2.現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ロケーション 現状の遊具 敷地状況(地形等の状況) 	<p>4.研究内容</p> <p>3.意見交換</p> <p><望まれる施設> (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親が見ていないと危険→高さのない遊具 砂場(管理が難しい) 	<p>4.研究内容</p> <p>▼高さのある遊具</p> 														
<p>4.研究内容</p> <p><望まれる施設> (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 低年齢層 & 高年齢層のもの 足場の悪さ、遊具の汚れやすさ 着さ防止の遊具(夏)→足元から水 	<p>4.研究内容</p> <p>それから4ヶ月後...</p> <p>役場の商工観光課へ訪問</p>	<p>4.研究内容</p> <p><企画した活動についてのご相談></p> <p>- 子育て環境の整備について質問 -</p> <p>↓</p> <p>現在の邑南町→mont・bellと協定</p> <p>↓</p> <p>並んで「株式会社コトブキ」と共同で企画</p> <p>→香木の森に新設遊具</p>	<p>4.研究内容</p> <p><株式会社コトブキ></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供向けの遊具やベンチなどをデザイン 役場は発表会で依頼先を吟味 安全性なども踏まえ決定 <p>株式会社コトブキ</p> 														
<p>4.研究内容</p> <p><共同企画の詳細></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存遊具は残し、ハープガーデン横に設置 安全性の配慮を第一にした遊具のデザイン 主に0~6歳を対象に設計 	<p>4.研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 親のための休憩スペース確保 脱設遊具・トイレ等の案内板 <p>→特に脱設遊具の入り口は見つけにくい</p> <p>→当初は企画の一つとして実行予定。</p> <p>この訪問で会社へ委託した。</p> 	<p>4.研究内容</p> <p>▶現在の様子</p> 	<p>4.研究内容</p> <p>以前と変わった様子は見られなかった</p>														
<p>4.研究内容</p> <p><新規パンフレット作り></p> <p>香木の森公園の新パンフレット</p> <p>→高校生がプロデュース</p> <p>→周辺施設の紹介</p>	<p>4.研究内容</p> <p><立案の背景></p> <p>9月▶ 立命館大学との活動</p> <p>大学生の方から案を頂き作成に至る</p> 	<p>4.研究内容</p> <p>▼既存のパンフレット(ガイドマップ)</p> 	<p>4.研究内容</p> <p>▼やまんなの里グルメマップ</p> 														

<p>4.研究内容</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生らしさ ・実際に利用したときの感想 ・イラストや写真 (遊んでいる様子や飲食の様子) 	<p>4.研究内容</p> <p>▶ラフ</p> 	<p>4.研究内容</p> <p>パンフレットのデザインを「こめじるし」さんに依頼</p> <p>↓</p> <p>1月に打ち合わせ</p> 	<p>4.研究内容</p> <p><計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ○配布予定場所 →保育所、児童クラブ、公民館など ○アンケート掲載 →宣伝と同時に子連れ世代を対象にした調査
<p>4.研究内容</p> <p><看板></p> <ul style="list-style-type: none"> ・香木の森公園への目印となる地点に看板を設置 →手作りの看板を作成 →路上から見えるように設置 	<p>4.研究内容</p> <p><歩行者用看板></p> <ul style="list-style-type: none"> ・香木の森へ徒歩で移動する割合は少ない ・歩行者用の案内看板は公園付近で二箇所確認した 	<p>4.研究内容</p> <p>▼歩行者用の案内看板</p> 	<p>4.研究内容</p> <p><運転者用看板></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入り口の分岐点から少し離れた場所に一箇所確認できた。 →フィールドワークから重要な分岐点には看板が必要だと感じた。
<p>4.研究内容</p> <p>▶運転者用の案内看板</p> 	<p>4.研究内容</p> <p><設置予定地></p> <p>▼日和トンネル前の十字路</p> 	<p>4.研究内容</p> <p><問題></p> <p>商工観光課との相談</p> <p>↓</p> <p>設置予定地の土地所有権の有無</p> <p>役場に調査を依頼</p>	<p>4.研究内容</p> <p>その後の報告次第で看板が設置できるかを検討し、看板の設計を行う。</p> 
<p>5.考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所や児童クラブの保護者や地域の方を対象にしたアンケートを実施する ↓ ・アンケートで出た統計をまとめ役場に提出してみてもよいと思った 	<p>7.終わりに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と香木の森について考えるよい機会となった ・次々と課題がきて大変だが、同時にやりがいも感じた ・今後も地域の方と協力して取り組みたい 	<p>ご清聴ありがとうございました。</p> 	

○研究名：洗心庭を魅力的にしよう

<p>洗心庭の魅力化</p>  <p>※写真：高尾紀海 竹内望心 三上心菜 岡本紗帆 岡本佳奈</p>	<p>洗心庭クイズ</p> <p>Q 洗心庭とはどのような場所でしょう？</p>	<p>① 池に水を入れ、魚を育てる場所</p> <p>② 人の心をほっとさせ、心を落ち着かせる場所</p> <p>③ 花や木を植えて育てる場所</p>	<p>答えは...</p> <p>② 人の心をほっとさせ、心を落ち着かせる場所</p>
<p>●洗心庭の歴史</p> <p>「洗心」とは</p> <p>少し難しくいうと...</p> <p>静かな深い境地に心を置くことで、人々の苦しみや悩みを我事のように思いやり、感じること。</p>	<p>・洗い流すべき心の汚れ</p> <p>×「不安や不満、嫉妬、怒り、はかりごと」などの悪い心</p> <p>○「期待や願い、固定観念」などの良い心</p>	<p>大事なこと!!</p> <p>平常の心で現実と未来を受けとめること</p> <p>↓</p> <p>心の波風が立つこともなくなる</p>	<p>●はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校には洗心庭があります。しかし、池の水がなくて草や木の手入れもされておらず洗心庭には人が集まらなくなりました。 ・洗心庭にした理由... ・身近なところを人が集まるような、魅力的な場所にしたかったからです。
<p>●近畿大学の洗心の庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存田舎として、クスノキ、ケヤキ、スダジイ、キンモクが植えられている。 ・お昼になると大学生たちが芝生やベンチに座をかけ、夏やかに過ごしている。 ・暑くて食事をしたり、輪になって話したり、水を飲んだり、ひと静か過ごしている。 	<p>●研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗心庭のような場所に集えるか ・どのようにしたら人が集まるのか 	<p>●研究内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①洗心庭の掃除 ②ベンチ作り ③写真展示会 	<p>●洗心庭の掃除</p> <p>落ち葉、枯れ、ゴミ拾い</p> <p>→期間を経て徐々に汚くなくなりました。</p> <p>定期的に掃除を行うべき!</p> 
<p>●ベンチ作り</p> <p>地域の方の木材をもらった丸太で丸太ベンチ作り!</p> <p>(鳥取県林業協会の)</p> <p>↓</p> <p>高尾達が作業を覚えていけるような練習スポットに!</p>	<p>作り方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ヤスリで座るところの表面を削る ②ニスを2回塗り重ねる 	<p>●写真展示会</p> <p>期間：12月15日(火)～12月23日(水)</p> <p>場所：洗心庭</p> <p>矢高生の思い出の写真を展示</p> <p>生徒や先生に観に来てもらい楽しんでもらう!</p> 	<p>反省...</p> <p>チラシを作ったが配布できなかった</p> <p>↓</p> <p>たくさんの人に観てもらおうとできなかった。</p> 
<p>●看板作り</p> <p>木材はお店で買った板や、ベンチ作りで削った丸太を使って作りました。</p> <p>工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホのデザイン ・雨でぬれないようにビニールシートを貼ったこと 	<p>反省...</p> <p>デザインは良かったが、大きさが小さく目立たなかった。</p> <p>今後の看板の使い道</p> <p>高尾式、大守式、矢高製作よったした行事のとき、生徒会館前に置くなど活用できると思います。</p> <p>そのために...</p>	<p>●考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗心庭には公園のような遊ぶ場所があります。ですが、矢高の洗心庭のように人が集まらない理由も沢山あるので、人が集まるためにはどうしたら良いのか考えるべき。 ・イベントをすることで人が集まる <p>そのために...</p>	<p>～季節ごとにイベントをひらく～</p> <p>例えば...</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春→お花見、ひな祭り ・夏→夏祭り、七夕 ・秋→紅葉、ハロウィン ・冬→イルミネーション 

<p>●今後の課題</p> <p>継続して人が集まるために...</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決心の確度を定期的にを行う ・イベントを季節に合わせて行う！ ・ベンチを利用して休憩スポットに出来るようにする！ 	<p>●まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決心の自然を待ちつつ、人が集まるように工夫して企画を考えて実行することが難しかった。 ・身近なところなのに、なかなか人の目に入らないのは、その場が盛りだくさんではないからです。魅力的にするためにイベントを開催したり、定期的に開催をしたり、休憩スポットにするなど人が集まりたいと思うような場所にする必要があると考えました。 ・少しでも多くの人に安心感について知ってもらえるまで良かったです。 <p>※年の末来フォーラムに生かしてほしいです</p>	<p>ご清聴ありがとうございました😊</p>	
---	---	------------------------	--

○研究名：バリアフリーを目指して





<p>バリアフリー を目指して</p> <p>天川晃一 若木透帆 上田麗人 山澤七穂 木重利白音</p>	<p>これに取り組もうと思った理由</p> <p>島根県には障がい者施設が多くあるが関心深い障がい者が持っている方は仕事へ就職することが難しい</p> <p>共生社会とは何かを知りたいと思ったから</p>	<p>バリアフリーとは</p> <p>社会制度や人々の意識を含み、あらゆる障壁を取り除くことを指す</p> <p>↓</p> <p>「物理的バリア」「制度的バリア」 「文化・情報障壁のバリア」「意識上のバリア」</p>	<p>まず、誰かいてどういふものがある？</p>				
<p>障がいは大きく分けて12区分ある</p> <p>視覚障がい 肢体不自由 聴覚・言語障がい 依存症 盲ろう 内部障がい など</p>	<p>全国的現状</p>	<p>島根県の現状</p>					
<p>障がい者の実態</p>	<p>障がい者の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身体障がいを持つ方も一般雇用種の労働者と比べると、年間にして60万円の差がある。 ●ボーナスや役職手当の差分を含めると、年間所得の差分は100～150万円と言われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者雇用における入社後の職場定着率をみると、一番定着率の高い身体障がい者でも、入社1年以内には約3割の人が退職。一番定着率が低い精神障がい者では入社1年以内に約7割が退職 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心の距離を縮める ●障がい者が持っている不安をなくす ●共生社会を目指す 				
<p>心の距離を縮めるためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意向にある石見養護学校の生徒と交流（まずは仲良くすることを目的に） ● 養護学校の生徒と一緒に生活面での不便なこと、地域について考え話し合う 	<p>養護学校の先生と交流前の話し合いの様子</p> <p>10月21日(木)</p> <p>天上市立へ養護学校の先生方をお招きいただき、石見養護学校の生徒が「交流について、どのように感じているか」ヒアリングしました。</p>	<p>養護学校の生徒が感じていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 臭い目がある ● 目の前に人がいると構えてしまう ● 将来、社会での生きづらさを感じる ● 養護学校の生徒であると見られることに抵抗がある <p><u>自分の人生に不安や悩みを抱えている</u></p>	<p>実際の悩み</p> <p>他校の生徒と同じバスに乗る事がつらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 養護学校の生徒だと思われたくない ● 自分たちは偏見を持たれているのではと心配する声も 				
<p>自分に自信が持てない</p> <p>私たちの気づかないところで心のバリアが生じている</p>	<p>養護学校の先生の思い</p> <p>心の距離を縮めてほしい</p> <p>同級生として対等に話し合える関係をつくってほしい</p> <p>臭い目を感じていたのは自分たちの思い過ごしだったことに気付いてほしい</p>	<p>石見養護学校との交流</p> <p>交流の日時</p> <p>15:15 あいさつ 自由参加 15:30 スナックタイム(食事) 16:00 話し合い 16:00 終わりのあいさつ</p>	<p>交流内容</p>				
<p>交流のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒が交流に不安を感じていたが、交流の中で話をしたり、笑顔を見たりしたことで、お互いに打ち解け合うことができた。 ● また養護学校の生徒が感じていた臭い目などの感情が軽くなった。 	<p>第二回石見養護学校交流</p> <p>交流の日時</p> <p>15:30 あいさつ 16:00 スナックの準備 16:30 話し合い 16:30 終わりのあいさつ</p>	<p>交流内容</p>	<p>交流のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今の生活について話し合いをしながら、共生社会とは何かを一緒に考えた ● 石見養護学校の生徒の意見としては、コミュニケーションをとることが苦手だが最終的に話すと話せばいいという生徒、また自分の生活がたとえ楽な生活という生徒もいた ● 意見は様々だが、それぞれ共生社会の理解をもっているように感じた 				
<p>活動経過</p> <table border="1"> <tr> <td>11月6日(金)</td> <td>12月16日(水)</td> </tr> <tr> <td>場所:石見養護学校 活動:アイスブレイク(卓球)</td> <td>場所:石見養護学校 活動:スナックの準備 共生社会を一緒に話し合い</td> </tr> </table> <p>感想の中で養護学校の生徒が、「自分たちは偏見を持たれているのでは」と心配する声があった。</p> <p>動き合いを通して養護学校の生徒の悩みや現状を聞き、共生社会について考えた。</p>	11月6日(金)	12月16日(水)	場所:石見養護学校 活動:アイスブレイク(卓球)	場所:石見養護学校 活動:スナックの準備 共生社会を一緒に話し合い	<p>今後の活動</p> <p>今後天上市立と石見養護学校で石見にある養護学校を新しく作り変える計画が予定しています</p>	<p>あいサポート研修</p> <p>近頃福祉協議会協議会の方に「障がい者利用、残すべき場所」などについて、意見交換の機会を設けてもらった。</p>	<p>あいサポーター</p> <p>「あいサポートバッジ」を身につけ、障がいの特性や必要な配慮などを理解して、障がいのある方を手助けする方々のこと</p> <p>「あいサポートバッジ」</p>
11月6日(金)	12月16日(水)						
場所:石見養護学校 活動:アイスブレイク(卓球)	場所:石見養護学校 活動:スナックの準備 共生社会を一緒に話し合い						
<p>ヘルプマーク</p> <p>ヘルプマーク</p>	<p>社会的障壁は誰にでもあります</p> <p>福祉施設の上にある公園には、誰も行くことはありません。誰にとっても、障壁がある状態です。</p>	<p>そこに障壁が設置されれば、歩いて行くことができます。それでも、歩いて利用している人や、ベビーカーを歩いている人は公園に行くことができません。障壁が先決です。</p>	<p>そこにスロープを設置すれば、誰もが公園に行けるようになります。</p> <p>歩いて利用している状態は変わりませんが、歩道の状況が変わることによって「公園に行けない」という障壁が解消されます。</p>				

<p>あいサポーター寺本さんの考え</p> <ul style="list-style-type: none"> 共生社会に正解はない 困っている人には障がいの有無にかかわらず自然と支え合う 困っているように見えても、相手が求めているければ、相手を不快にさせることも... 	<p>私たちにできること</p> <p>まずは「なにかお手伝いできることはありませんか」と声をかける。</p> <p>相手の思いに成り手伝ったり見守ったりすることを選択する</p>	<p>今後の課題</p> <p>石見養護学校との交流をこれからも継続的に行う</p> <p>共生社会とは何か一緒に考えて生きたい</p> <p>他の障がい者施設にも訪れ、共生社会の実想を幅広く知りたい</p>	<p>考察</p> <p>課題に気づいて試してみることで自分たちが抱えている思いを聞くことができた</p> <p>私たちと障がいを持っている方々の間に心の距離が存在するのはお互いが思いのこを掴み取れないために生じるコミュニティの壁があるからではないかと考える</p> <p>今回の交流での距離を縮めることはできたがその距離はまだ遠いように感じる</p>
<p>おわりに</p>	<p>ご清聴ありがとうございました</p>		

○研究名：本来の自然を取り戻そう

<p>本来の自然を取り戻そう</p>  <p>照喜名琢太 中田和 上田浩太郎 服部有紀 松浦悠加</p>	<p>始めに</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然様がこの場所を好きになってくれたから。 地球上の環境問題の中心を邑南町を主体として世界に発信していきたいから。 	<p>本来の自然とは</p> <ol style="list-style-type: none"> ①その自然物そのものの生き・生育場所の保全 ②人為が加わっていないありのままの状態、現象 ③人工物の少ない環境 ④人間を除く自然物および生物全般 	<p>研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開拓などによる森林の減少 ・サギのフンが子供たちの健康に影響 <p>↓</p> <p>サギを追い出す（鳥獣保護法で駆除は禁止）</p>																		
 <p>https://www.ksp.go.jp/mst/taip/000468</p>	<p>サギについて</p> <p>悪天候や鳥インフルエンザのため中止</p> <p>↓</p> <p>年明けに実行する予定</p>	<p>地球温暖化（ヒートアイランドの原因）</p> <p>ヒートアイランド現象の主な原因として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地表面積の人工化 ②都市部での高層ビル ③人工緑地の増加の効果が受けられず。  <p>国立環境研究所より http://www.data.go.jp/gis/kyoto/kyoto.html</p>	<p>温室効果ガスについて</p> <p>主な温室効果ガス 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス</p> <ol style="list-style-type: none"> ①最も大きな温室効果ガスは二酸化炭素 ②石油や石油の消費、セメントの生産により大量の二酸化炭素が大気中に放出 ③大気中の二酸化炭素の吸収源である森林が減少 																		
<p>得る</p> <p>IPCC第5次評価報告書（2014）より</p> <p>2100年には気温が最大で4.8℃上昇</p> <p>水蒸気、二酸化炭素などの温室効果ガスがなくなると... 最大でマイナス1.9℃</p>	<p>対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エアコンの設定温度は、夏は28℃、冬は20℃に。 2. 使わない電化製品は、主電源を切り、コンセントからプラグを抜く。 3. 誰もいない部屋の電気は消す。 4. テレビのつけっぱなしをやめる。 5. 近い距離の移動は、自転車などを利用し、公共交通機関をなるべく使わないように心がける。 	<p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化について調べ、対策を考える ・扉を作ってサギのいる竹やぶに風をとばす（予定） ・降雷のため現場で風を上げることはできません 	<p>経典経過</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>サギを追い出す計画</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>ヒートアイランド現象、森林減少の原因を調査する</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>ヒートアイランド現象</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>調査、調査結果の発表準備</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>調査結果の発表</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>調査結果の発表</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>調査結果の発表</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>調査結果の発表</td> </tr> </tbody> </table>	期	活動内容	7月	サギを追い出す計画	8月	ヒートアイランド現象、森林減少の原因を調査する	9月	ヒートアイランド現象	10月	調査、調査結果の発表準備	11月	調査結果の発表	12月	調査結果の発表	1月	調査結果の発表	2月	調査結果の発表
期	活動内容																				
7月	サギを追い出す計画																				
8月	ヒートアイランド現象、森林減少の原因を調査する																				
9月	ヒートアイランド現象																				
10月	調査、調査結果の発表準備																				
11月	調査結果の発表																				
12月	調査結果の発表																				
1月	調査結果の発表																				
2月	調査結果の発表																				
<p>おわりに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・邑南町の活性化と共に、地球の環境問題を少しでも食い止めることが出来たら良い。 																					

○研究名：空き家を使って物々交換！

<p>空き家を使って物々交換!!</p>  <p>メンバー 渡利鼓太郎 秋田唯希 日高崇文 森脇研華 岩切来希</p>	<p>企画理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・邑南町の空き家問題に目をつけた →空き家を使ってものを売る企画：✕ →空き家を使って物々交換という企画：○ 	<p>現状の課題</p> <p>空き家の全国総数は846万戸 島根県は47,700戸 住宅総数の15%以上</p> <p>→寂らす方法</p> <p>空き家の使用方法 →考える</p>	<p>課題の解決</p> <p>前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・邑南町の人が自由にものが売れて買えるような店 ・矢上高校産業技術科専用の矢上ショップ <p>→お金が発生してしまう</p> <p>→空き家の解決方法として続かない</p>
<p>課題の解決</p> <p>後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を使わないゼロ円ショップ ・人の想いも交換する <p>→お金が発生しない</p> <p>→無人でもできるため、いろいろな場所ですやすい</p>	<p>理想に近づくために</p> <p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に場所へ行く →壁や床が割れている <ul style="list-style-type: none"> ・物々交換をするための初期物資を集める →高校生の中でアンケート取り集めた →地域の人からも頂けた 	<p>作ったチラシ</p> 	<p>活動内容の様子</p> 

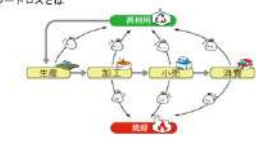






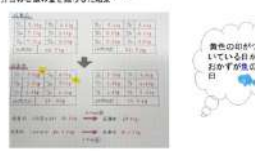



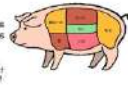






 <p>白い板・ブルーシート</p>	<p>送物内容 (商品運び)</p> <p>壁のはがれていた部分ブルーシートを敷き、壁は白紙で貼した。</p> 	 <p>準備の様子</p>	<p>活動内容 (商品並べ)</p> <p>運送してもらった商品を並べた</p> 
<p>活動内容 (デコレーション)</p> <p>消費などを準備し、お店をデコレーションした</p> 	<p>送物の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 10月1日(日) ・合計参加人数 7人 	<p>当日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来たお客さんに検温とアルコール消毒をした。 ・お客さんが持ってきた商品と、チケットを交換した ・チケットの説明を行った ・チケットと商品を交換した ・受付でアンケートを答えてもらった 	<p>交換チケット</p> 
 <p>当日の様子</p>	<p>物産紹介</p> <p>34種類あった商品が 478個になりました！！</p> 	<p>アンケート用紙</p> 	<p>活動によって生まれた縁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が軌道の運営を助けてきてくださった →その運営を矢上高校鉄道部が交換をした ・この交換で得られたもの <p>お金 ↓ 円 人々 ↓ 縁</p> 
<p>空き家解決のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用は誰でもできると、お店として活用ができた。 ・空き家の活用は誰でもできる ・空き家の活用方法が多数分かった。 	<p>物々交換のまとめ</p> <p>・売り買いできるお店 ↓ のショップに 次回の準備しとま準備</p> 	<p>次の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと企画の宣伝をする ・そして次は矢上高校の食と農研学会とコラボ、矢上高校の宣伝もしていく 	<p>後輩へ</p> <p>・この活動を来年、再来年も続けてほしい</p> 
<p>地域への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは空き家を利用する一つの例として、「物々交換する場所」として使いました。 ・私たちは物々交換にしましたが、ほかにも「空き家問題」の解決方法はあります。 ・空き家を何らかの形で活用することを、町内全体で行うということを考えてみてはいかがでしょうか。 		<p>ご静聴ありがとうございました。</p> 	

○研究名：日貫×邑南ドリームプロジェクト

<p>日貫×邑南ドリームプロジェクト</p> <p>企画担当 森下心斗 稲川裕太郎 監所責任 寺本愛瑛</p>	<p>はじめに日貫を選んだ理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢上高校の産業技術科と身近な地域である日貫地域と連携して出展を企画もできた。 ・日貫の歴史的背景に魅力を感じ、もっと日貫のことについて知りたくなった。 ・日貫の特産物である、そば粉やごぼうをもっといろんな人に知ってもらいたかった。 	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日貫に人が少ないので日貫の特産物である「そば粉」を使って日貫に人を呼びかけて、日貫のことを知ってもらうこと。 ・而且つ、矢上高校が作った味噌やジャムを販売して矢上高校のことを知ってもらうこと。 <p>邑南町活性化！！</p>	<p>考えていた活動 or 問題点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①田山崎歴史館などの歴史的建造物を通して、日貫の良さを知ってもらう →行事場など人が来るのに不便があったので難点 ②日貫の特産物の産地ごぼうを使って、小学生ごぼうクッキーを作る →ごぼうクッキーは何年もの前からあるもので、すでにあるレシピをただ作るだけでは新鮮感がないので難点
<p>日貫ウォークラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月1日に日貫で行われた「日貫ウォークラリー大会」に参加 ・当日のウォークラリーを撮影する ・ラリーに正解したらスタンプの取手紙がもらえる企画 	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> →日貫の名所をもっと知ってもらうため 地域の人と交流して日貫のことを知ってもらう 参加してみたい →日貫地域の魅力も多かったが山田さんから来た人もいた 昔からある歴史的建造物がたくさんあった  <p>田山崎歴史館</p>	<p>日貫の「一皿」というお店に協力してもらいそば粉を使った餃子を参加者とする</p> <p>作った広告を日貫小学校や公民館などで配る</p> 	<p>そば餃子レシピ</p> <p>材料(2人分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば粉 75g ・白味噌 60g ・水 湯煎(100ml-150ml) ・味噌 大さじ2(1粒) ・多量 あんこ (お好みで) 
<p>作り方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日貫をのりこに投入し、一部になるまで煮立たせる。そば粉はつくといいからとろろにする。 2. 白味噌が濃くなるまで、味噌をこまごま入れておろす。 3. 白味噌とそば粉を混ぜたら、湯煎を少しづつおろす。 4. 湯煎を少しづつおろす。 5. 湯煎を少しづつおろす。 6. 湯煎を少しづつおろす。 7. 湯煎を少しづつおろす。 8. 湯煎を少しづつおろす。 	<p>そば粉を使った料理の試作品</p> <p>選んだ理由</p> <p>日貫には伝統的な食べ物である「煎餅(そば)」があり、そのそば粉を使って新しい料理を作ってみようと思った</p> <p>→手軽に餃子で作れると思った</p> 	<p>結果</p> <p>→そば粉の味が独特でそのままでほのかなお味を食べたい</p> <p>結果を踏まえて</p> <ul style="list-style-type: none"> →そば粉と白味噌の生地には多く強いつなぎをなるべくないようにした 粉を混ぜた きん粉、アミノ酸を合わせるようにした。 	<p>そばもち煎餅(仮) レシピ</p> <p>材料(2人分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば粉 75g ・白味噌 60g ・水 湯煎(100ml-150ml) ・味噌 大さじ2(1粒) ・油 ・しょう油 
<p>作り方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. そば粉と味噌 (湯は、準備した) 2. 湯を少しづつおろす。お好みで調整する 3. 湯を少しづつおろす 	<p>そばもち煎餅(仮)について</p> <ul style="list-style-type: none"> →そば粉を調整して100g 「湯でそば粉を調整して100g」という量がわからず調整して作った →参加者から「おいしい」と好評 →食品も好評 	<p>実施内容</p> <p>日貫にあるカフェー棟で12月18日に実施</p> <p>様々な地域(日貫 矢上 邑南)から親子2人1組で合計9組の参加</p> <p>スタッフも合わせて20名の方が参加</p> <p>参加者と一緒にそば餃子とそばもち煎餅(仮)を作った</p>	<p>活動の様子</p> <p>子供たちがワイワイ活動している様子です。笑顔の子供を見ると私たちも笑顔になり、元気がもたれます！</p> 

<p>活動の様子</p> 	<p>売上高の業種別で作っている味噌（12種）やジャム（19種）も販売しました。 売上高をPRしました！</p> 	<p>アンケート結果</p> 	<p>考察</p> <p>日々の残飯について悩まることができた。 売上高の伸びも予想外に大きかった。ということもできた。 本館という活動の場でも、この活動を始めた。 参加者のみなさんの意見が活かせることができた。</p> <p>しかし、参加者には届いていない。 大きな課題での取り組みはできなかったが貴重な経験をすることもできた。</p>
<p>ご清聴ありがとうございました。</p>			

○研究名：恩食万命～フードロス削減への第1歩～

<p>恩食万命 ～フードロス削減への第1歩～</p> <p><メンバー> 上木 杏香音 大山 瑞生 森 陽向 柴田 大悟 野板 美太 山田 嶺緒</p>	<p>はじめに</p> <p>Q 日本で年間発生するフードロスの量はどのくらいでしょうか？</p>	<p>○日本で年間発生するフードロスの量はどのくらいでしょうか？</p> <p>① 65万トン ② 650万トン ③ 6500万トン</p>	<p>コンビニ弁当 (一食約350g) 約1日6食程度分</p> <p>A. ②650万トン</p>
<p>着目理由</p> <p>寒の弁当の残飯が多い ↓ フードロスについて調べる ↓ 様々な段階でのフードロス 加工段階のフードロス 消費段階のフードロス</p>	<p>フードロスとは</p> 	 <p>食品廃棄物 2942万トン フードロス 648万トン 消費段階でのロス 238万トン</p> <p>日本国内へ入国した人の年間食品廃棄物 世界で6位 アジアで1位</p>	<p>4. 研究内容</p> <p><消費段階でのフードロス></p> <p>究極の弁当の残飯を削減する</p> <p>①毎日弁当の残飯の量を量る ②6日間ごとにグラフにまとめ、残飯を削減する際に開示する ③販売先対象にアンケートを取る ④アンケート結果をもとに改善案を考える</p>
<p>①毎日弁当の残飯の量を量る</p> <p>毎日、弁当の残飯が持ち帰る際に、持ち帰り残飯の量を量った</p> 	<p>②6日間ごとに量にまとめ、掲示する</p> <p>残飯が弁当を届ける際に量を掲示する</p> 	<p>③寮生を対象にアンケートをとる</p> <p>アンケート：「今の弁当に満足しているか」 結果：「ご飯の量が多い」「おかずのバリエーションが少ない」 という2つの意見が多かった。</p> <p>そこで、「ご飯の量を調整する」「おかずの種類を考える」という2つの改善案を考えました</p>	<p>改善案1. 弁当のご飯の量を調整する</p> <p>どのくらいのご飯の残りが多いのかのアンケートを取った結果...</p> 
<p>改善案2. 弁当のおかずの種類を考える</p> <p>「どんなメニューのおかずが良いか」というアンケートを取る</p> <p>結果...</p> 	<p>この2つの改善案を寮の調理員さんに提案した</p> <p>調理員さんは私たちの提案を快く受け入れて下さいました！</p> 	<p>改善案1のアンケート結果をもとに調理員さんと相談をして3の種類のご飯の量に調整することにした</p> 	<p>弁当のご飯の量を減らした結果...</p>  <p>黄色の部分が、おかずが後の日</p>
<p>消費段階でのロス 考察</p> <p>①なぜ残飯の量が増ったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートをとり、その人の食べられるお弁当の量に合わせたから このような取り組みを行うことが寮生のお弁当に対する意識を高めた <p>②なぜ残飯の量が増えたのか</p> <ul style="list-style-type: none"> おかずの量や種類が多くなった 	<p>生産・加工段階でのロス</p> <p>生産・加工段階で発生したロス</p> 	<p>生産・加工段階でのロス</p> <p>GOAL</p> <p>①レトルトハンバーグカレーを商品化させ、フードロス削減に貢献する ②フードロスについて知ってもらう ③食に対しての感謝の気持ちをもってもらおう</p> 	<p>レトルトハンバーグカレー</p> <p>邑南町にある有限会社ディプロ・・・石見ポークの販売</p> <p>豚1頭で約80kg ロース、バラ、肩ロース：約25kg ウデ、モモ：約31kg</p>  <p>ウデとモモを有効活用して食品の活用率を上げよう！</p>
<p>ほかの部位に比べてウデとモモは扱いにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ほかの部位に比べて「つかいにくい」 「量が多い」 「お肉を量りにくい」 <p>豚の命を大切にしているから、廃棄してはダメ！</p>	<p>170-180頭仕入れる</p> <p>1ヶ月に約10頭分</p> <p>『ウデ』120kg 『モモ』180kg</p> 	<p>『ウデ』と『モモ』の部位を使って商品化させよう！</p>	<p>※保存がきく ※野菜も活用もとれる ※簡単に食卓で出せる ※幅広い年代で愛される</p> <p>レトルトハンバーグカレーをつくろう！！</p> 
<p>野菜は規格外となった野菜を使用</p> <p>産地直産りで食べられるのに、規格として売れない野菜もたくさんある！</p> <p>大きすぎる！ 小さすぎる！ 形が悪い、など</p> 	<p>農家さんから出た規格外となった野菜を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> とてくもりの野菜が規格外となっていて廃棄されていますか？ <p>A. 全体の10%が規格外</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾燥野菜にする 煮る、炒 	<p>乾燥野菜と生野菜の比較</p> <p>乾燥野菜と生野菜を使用してカレーの味を比較する！</p>  <p>乾燥野菜 生野菜</p> <p>使用した野菜 なす、たまねぎ、パプリカ</p>	<p>乾燥野菜と生野菜の比較</p>  <p>乾燥野菜のカレー 生野菜のカレー</p> <p>乾燥野菜のカレー ・とろみがある ・野菜の味がよく ・味がまろやか</p> <p>生野菜のカレー ・とろみがある ・野菜の味がよく ・味がまろやか ・パプリカが足りない</p>

<p>小松菜はカレーに合うのか？</p>  <p>小松菜の規格外が出ていたため、試作！ 小松菜の旨みが出るのかな？</p> <p>↓</p> <p>シャキシャキしていて、おいしい！ 小松菜採用◎</p>	<p>レストラン客夢見の方の協力</p> <p>カレーの作り方やカレーに合う野菜、どのルーを採入ばいかなどを教えてくださいました</p> 	<p>さつまいもカレー ジャがいもカレー</p> 	<p>先生に試食してもらいました！</p>  <p>職員室 校長 産業技術科職員室</p> <p>じゃがいも採用！</p>
<p>みんなの声</p> <p>山田君は活躍 ・様にパンチがある ・辛いけど強い ・カレーに好きがあるのが好きで好き</p> <p>さつまいもカレー ・野菜の旨みが増える ・味がまろやか ・旨みがあるから子供も食べやすい</p> <p>大島君の感想 ・じゃがいももさつまいもも二種類で試食してほしい ・試食に合わせたアレンジしてほしい</p>	<p>使用する材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまねぎ 農家から出た規格外品 ・にんじん 農家から出た規格外品 ・小松菜 農家から出た規格外品 ・さつまいも 産業技術科から出た規格外品 ・安曇みそ 有限会社ティプロさんの豚肉(石見ポーク) ・ハンバーグ 有限会社ティプロさんの豚肉(石見ポーク) ・ローリエ(粉末) 島田製菓のハーブの一種 ・横浜舶来亭 	<p>サンプルを試食しました！</p> <p>2月完成予定</p>  <p>写真提供</p>	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売する(川本のスマイル、石見プラザ) ・可能であれば試食会を開催する ・悪食万命の普及でハンコづくり 
<p>パッケージ案</p>  <p>案1 案2</p> <p>・産地別の野菜(うら)と、カレーの歴史(か)のうら ・「うら」の歴史(か)のうら ・「うら」の歴史(か)のうら</p>	<p>側面</p> <p>食前に見るまでには関わっていない方を観た</p>  <p>たくさんの方々の意見や協力があったおかげでできていることを誇ってほしい</p>	<p>考察 <うまかったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードロス削減に貢献 ・地域の人たちと深く交流 ・商品開発 <p><うまかった理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い、試食を何度も重ねたこと 	<p>考察 <うまくなかったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥野菜で作ったおしくなかった ・年中販売できるカレーについてまだ考えることができていない <p>↓</p> <p>時間が足りなかった → この活動を1年生に引き継いでほしい！</p>
<p>全体の考察</p> <p>消費者側でのロス 加工段階でのロス</p> <p>フードロス削減への第一歩を踏み出すことのできた</p> <p>↓</p> <p>地域の力や関係も活用も重要だと</p> <p>First Step!</p> 	<p>おわりに</p> <p>～みなさんにお願い～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当たり前ではないということ ・感謝の気持ちをもって、「いただきます」「ごちそうさまでした」を言っておきたいということ ・残さず食べて欲しいということ 	<p>タイトルに込めた想い</p> <p>悪食万命とは</p> <p>→ 全ての食べ物の命や、生産者の方々、調理される方々への感謝の気持ちを込めて食べてほしいという思いを込めて考えた言葉</p>	<p>ご清聴ありがとうございました！</p> 



・総合的な学習の時間（3年）

1. 年間の取組

(1) 流れ

3年次は、6月から自身の進路の実現のための「内省」を重視している。各コース、各人の希望によって入試や試験のタイミングが異なるため、1学期は共通のワークシートを用い、小論文の書き方についての講義が行われた。2学期以降は専用のワークブック（河合塾『学びみらいPASS』）を利用をもとに、各自の進路実現に向けた取組を行なった。また、1月以降は、邑南町の公民館と連携し、町内のU・Iターン者との対話の時間や一人暮らしの食事、犯罪についての注意喚起などを図っている。

(2) 教材（ワークシート）

・授業1：志望動機を作ろう

総合的な学習の時間 **志望動機を作ろう** 年 組 氏名

＜私らしい＞
面接での対応を見ながら、志望動機を明確にするために必要な観点を整理しよう。

＜授業の流れ＞
1 時間目：志望動機に必要な観点を考え方を整理する
2 時間目：ポートフォリオを読み返して、志望動機作成に活用する
3 時間目：自分の強み・弱みを考える
4 時間目：リアレンジングをマスターし、オリジナルな志望動機を作成させる

(1) 面接での応募を見てみよう ※実際の面接を想定していますが、授業や専門学校でも利用できます

あなたは、「スポーツトレーナー」になりたいと志望しています。そこで、スポーツトレーナーの資格を取れる●●大学を志望します。

あなたは「スポーツトレーナー」になりたいのですが、そのために、専門学校で口述式で面接する方がいいのでしょうか？

◆どのようなことを 語るべきでしょうか。
個人やグループで考えるMEMO

◆個人で考えたり、グループで話し合ったことを踏まえ、あなたなら、どんなことを述べますか？

(2) (1) を踏まえて、自分の志望理由を考えてみよう

面接官：どうして、うち（大学、専門学校、会社など）じゃないといけないの？

◆採用される可能性を上げる面接で大切なポイント

大学・専門学校	就職
<input type="checkbox"/> そこでないと思わないことは？ <input type="checkbox"/> そこでないで多い研究は？ <input type="checkbox"/> そこにいる先生は？ <input type="checkbox"/> 大学の経験や大学の歴史は？ <input type="checkbox"/> どのくらい資格が取れる？ <input type="checkbox"/> そこにしかない資格・設備は？ <input type="checkbox"/> 講師の雰囲気や立地等は？ <input type="checkbox"/> 通っている先輩や後輩の存在は？ <input type="checkbox"/> オープンキャンパスなどでいったことはある？	<input type="checkbox"/> どんな仕事をしているところ？ <input type="checkbox"/> どんな企業風土や設備を持っている？ <input type="checkbox"/> 社長のメッセージは？ <input type="checkbox"/> どんな資格が取れる？ <input type="checkbox"/> 働いている先輩や後輩の存在は？ <input type="checkbox"/> インターンシップや生きた講座などで関わったことがある？ <input type="checkbox"/> そこにしかない資格・設備は？ <input type="checkbox"/> 職場の雰囲気や立地等は？

◆次の時間までに、調べたことや考えたことを書いてみよう

◆就職先と志望動機を語ったところ、面接官がこんなことを聞いてきた
 ……、ならないよ。2学期をちゃんと習得しておきなさいよ。
 面接！「ポートフォリオを使って、自分をアピールしよう！」

《備考》
面接で問われる質問を想定し、何を調べておくべきか、何を考えることができるように設計している。

・授業2：ポートフォリオを使って、自分を客観視しよう！

総合的な学習の時間 **ポートフォリオを使って、自分を客観視しよう！** 年 組 氏名

面接での、こういう質問で、しっかり答えられるように「過去」を振り返る

あなたは、進路に関心を持ちたいと考えています。そこで、就職支援センターで、ポートフォリオを作成し、面接に活用しようと考えています。面接官に面接したいと希望する理由を、面接前に考えてください。

◆ポートフォリオがある…こんな質問はないですか？

総合的な学習の時間で、授業中のワークシートを行った。プレゼンでは、人に向けて話す必要があるため、ワークシートを使って整理した。しかし、面接では、面接官からの質問に対して、どのような答えを返すかを事前に準備しておきたいと思った。

このポートフォリオを使って、「面接官の志望理由として話せよう」と考えてみよう！

(1) ポートフォリオから、「自分の興味・関心」「自分の強み・弱み」を読み解こう

この3つの中で最も重要なものは…

(2) 経験は、「意思・役割・能力」でふりかえろう！

【意思・役割・能力】でふりかえろう！
 3つのポイントでふりかえろう！

その経験を通して、どんな思いになった？
 その経験を通して、どんな役割を果たした？
 その経験を通して、どんな力が身についた？
 ※リテラシーやコンピテンシーで実践しよう

その経験では、どんな役割を果たした？

(3) 総合的な学習の時間で「意思・役割・能力」でふりかえろう！

◆どんなことをしたのかを具体的に（数字を使いながら）、書いてみよう（中学校に伝わるレベル）

この経験（多少種類してもOKです）	看護科志望理由に活かせること！
例 わかりやすく伝えたい、絵やグラフを使った。	看護科になると、子供からお年寄りまで幅広い年代の方と接し、自分の役割や家族での過ごし方、薬の飲み方などを説明する場面があるはず。

意思（どんな意思関心があった？） 役割（どんな役割を果たした？） 能力（どんな力が身についた？）

詳しくは、この経験を元に、どう自分の志望理由に活かせるかを考えてみましょう。

《備考》
総合的な探究の時間で取り組んだ事をふりかえり、何を学んだか、何ができるようになったのかを整理した。また、「意思・役割・能力」でふりかえる際、他社のワークブックを用いて、リテラシーやコンピテンシーの理解を深めた。

・授業4：ポートフォリオと志望動機をつなげる！

(番外編) NEW STEPにチャレンジ！期末までの1週間の予定を立てよう！														年	組	氏名	
1週間後に行われる期末試験に向けて、7日間の「予定」を書こう。																	
1日目：6月22日(月)		2日目：6月23日(火)		3日目：6月24日(水)		4日目：6月25日(木)		5日目：6月26日(金)		6日目：6月27日(土)		7日目：6月28日(日)					
予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際	予定	実際				
5:00																	
6:00																	
7:00																	
8:00	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校				
9:00																	
10:00																	
11:00																	
12:00																	
13:00																	
14:00																	
15:00																	
16:00																	
17:00																	
18:00																	
19:00																	
20:00																	
21:00																	
22:00																	
23:00																	
24:00																	
1:00																	
2:00																	
3:00																	
4:00																	

《備考》

期末考査直前ということもあり、時間管理を意識するワークを実施。予定の横に実際の時間を書き込む事で、結果と原因を振り返るきっかけとした。

II：教科横断型カリキュラムの開発

1. 教科横断型カリキュラム

本校での教科横断型カリキュラムは、教員の「同じテーマについて、別の教科でも扱うことがある」という声をもとに検討が行われた。実際、社会問題は多様な理由が複雑に絡み合っており、多様な主体の参加が必要となる。そこで、生徒自身が一つのテーマを様々な視点から考える力を身につけてもらうため、一つのテーマとそれに関わる教科で横断する形式をとった。ただし、今年度は年度途中での調整であったため、予定を調整することができず、2種類のプログラムの策定にとどまっている。

また、教科同士の繋がりがだけでなく、探究学習と教科学習の横断も重要であり、今年度は、地域の企業の出張授業にて教科と探究の横断、さらには学年をまたぐ取組を実施した。

2. プログラム策定までの流れ

①教科ごとの単元と予定の確認

家庭／保健体育／生物／公民／ビジネス基礎／総合的な探究の時間／農業（産業技術科）という、現実社会について考える機会の多い教科に焦点を当て、「単元名、内容、困っていること」を担当教員に挙げていただいた。

教科横断プログラムを作成するために、

年	教科名	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名や内容を記入ください								
	教材について困っていることなど							
10月								
	教材について困っていることなど							

教員に挙げてもらった資料をもとに、各月と教科単元ごとに一覧に作成した。

※科目名 農業科・公民科・総合探究科 担当

教科横断型プログラム作成の進捗状況

*表の見方について：表の右側に「担当」の欄があり、担当が複数ある場合は「担当1」「担当2」のように記載されています。

単元	担当	単元	担当	単元	担当	単元	担当	単元	担当	単元	担当	単元	担当	単元	担当
家庭科	家庭科	保健体育	保健体育	生物	生物	公民	公民	ビジネス基礎	ビジネス基礎	総合探究	総合探究	農業	農業		
家庭科	家庭科	保健体育	保健体育	生物	生物	公民	公民	ビジネス基礎	ビジネス基礎	総合探究	総合探究	農業	農業		
家庭科	家庭科	保健体育	保健体育	生物	生物	公民	公民	ビジネス基礎	ビジネス基礎	総合探究	総合探究	農業	農業		

②検討会議を実施



関連性が高い教科で教科書及び予定表を持ち寄り、どの単元で、いつ、どのような内容で「教科横断した授業」ができるかを話し合った。

(左写真)

「現代社会」や「保健体育」の教科書を見ながら、同じ分野があることに気づく

令和2年度に開発した教科横断型プログラム

1. 教科同士を横断するプログラム

今年度は、教科同士の横断では2つのプログラム、教科と探究の横断として1つのプログラムを作成した。上記の検討会議にて「食」「福祉」「生命倫理」などのテーマが出てきたため、実施日程を調整した。

■授業1：「未来の食卓を考えよう！」

- ・実施教員：保健体育科教員
- ・実施教科：総合的な探究の時間（1時間）
- ・対 象：普通科1年1組（30名）、1年2組（30名）
- ・実施日時：令和2年7月16日（木）
- ・横断教科：家庭「調理実習」／保健「健康的な食生活」／生物「タンパク質」／公民「需要と供給」
- ・教材：＜家庭×保健×生物×公民＞未来の食卓を考えよう！

「未来の食卓」として、2050年に起きると言われている食糧危機(タンパク質危機)をテーマに各教科の視点から分析した。様々な情報が必要となるため、「知識構成型ジグソー法」を用いて、エキスパート資料が各教科の内容を反映するものとした。



■授業2：「現代版『アリとキリギリス』 ロールプレイ～労働問題と社会の関係～」

- ・実施教員：家庭科教員／ゲスト講師：邑南町社会福祉協議会
- ・実施教科：総合的な探究の時間（1時間）
- ・対 象：普通科1年1組（30名）、1年2組（30名）
- ・実施日時：令和2年11月2日（月）
- ・横断教科：総合的な探究の時間「進路哲学を持つ」／家庭「共に生きる（社会保障の考え方）」
／保健「働くことと健康」／公民「現代の雇用・労働問題」
- ・教材：現代版『アリとキリギリス』ロールプレイ～労働問題と社会の関係～

現代版「アリとキリギリス」ロールプレイ～労働問題と社会の関係～

●課題「アリとキリギリス」（イソップ寓話）

夏の間に、アリたちは冬を食料で過ごすために働き続け、冬が来るとアリは冬を食料で過ごす。冬が来るとアリは冬を食料で過ごす。冬が来るとアリは冬を食料で過ごす。

(1) 課題「アリとキリギリス」を読んで、自分の感想・考えを記入しなさい。

① アリの行動は賢くない。（キリギリスに食べ物を分けよ）

② アリの行動は賢くないが、気持ちよからぬでもない

③ キリギリスが賢く見えても、自業自得

④

(2) 現代版「アリとキリギリス」のロールプレイ「アリとキリギリス」について、「アリとキリギリス」を演じます。自分の役割をしっかりと、自分の気持ちを持って、演じます。

① アリとキリギリスの話し合いの場面を演じます。

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

総合的な探究の時間で、「進路哲学を持つ」ための授業の一つとして、労働問題を取り入れた。長い人生の中で、自分自身が「生きづらさ」を感じてしまうこともあると想定し、童話「アリとキリギリス」をもとに教材を作成。

生きづらさを感じた時のための社会保障の説明や、現代の労働問題の説明として、邑南町社会福祉協議会に来てもらい、ゲスト講師として解説してもらった。



(左図) オリジナル開発したカード教材。
 それぞれ、「過労死・ブラック企業」「非正規雇用・ホームレス」「高齢者・障がい者」「8050問題・孤立死」といった社会問題になりうる設定を付与し、生徒はその役になりきって考える。



2. 教科と探究を横断するプログラム

運営指導員会やカリキュラム開発等専門家との協議の中で、「探究と教科のリンクができていない」との指摘を受け、年度途中ではあるが、探究学習の導入となる教科の授業を実施した。

■授業：「住環境をつくることは、地域をつくること」

- ・実施教員：家庭科教員／ゲスト講師：石見工業株式会社
- ・実施教科：家庭科（1時間）

- ・対象：普通科1年1組（30名）、1年2組（30名）、1年3組（33名）
- ・実施日時：令和3年3月18日（木）
- ・教材：住環境をつくることは、地域をつくること

実教科 住環境をつくることは、地域をつくること 年 組 氏名

高校卒業してすぐに、一軒家を借りることはほとんどないのではないかと思います。これまで学んだことを生かして、また想像力を発揮しながら、自分からどの程度の環境、どのような部屋の間取りにするかを考えてみましょう。後日プロの建築士の方から、どのように考えればよいかを教えていただく予定です。わくわくする部屋を考えてみましょう。

合格おめでとうございます！
あなたは高校の某大学に合格しました。4月から夢のキャンパスライフです！
不動産さんが「ここしかないんです」と紹介してくれたのは、
大学から徒歩10分の、とある集合住宅「コーポファクション」。
興味で「ここにします！」と決めてしまったあなた。
さて、どの部屋を選び、どのような間取りを希望しますか？

(1) 集合住宅「コーポファクション」の場所と周辺の環境を確認しよう！ (地図に詳細な地図があります)



(2) 集合住宅「コーポファクション」の中で、どの部屋の間取りを考えるかを決めるよう！

●部屋番号を番号ごう

理由

入り口 駐輪場 (複数)

*各階の様子を、裏面を参照ください

(3) 快適に暮らすためには何を注意すれば良いのだろうか

【日照（日当たり）】 【騒音（静かさ）】 【換気（風通し）】 【換気】
 【湿度（暑さ・寒さ）】 【湿度】 【室内環境汚染】 【騒音・通風】 【換気】
 【ユニバーサルデザイン】 【プライバシー】 【方向】 【防犯】 【その他】

上に書いてあるキーワードの中から、間取り作りで生かしたいポイントをきつめてみよう

ポイント	具体的な工夫を考えてみよう
例) 騒音・通風	遮音性の高い窓や壁にする、遮音剤に壁紙を貼けない など
1:	
2:	
3:	

(4) 準備が整ったら、間取りを作ってみよう！

1時間目は、ワンルームの間取りを考える実物教材をもとに、松江市にあるマンションという設定で、部屋箇所や間取りを考えた。また、すでに学んでいる快適に生活するために必要な視点を振り返ることで、教科の学習と日常生活をつなげて考える視点を持つことをねらいとした。

実教科 住環境をつくることは、地域をつくること～匠の視点編～ 年 組 氏名

○ゲスト講師 (匠の紹介)

(1) 築年数ってどう見たらいいの？

1981年 (昭和56年) ... 1978年の宮城根岸地蔵
 1995年 (平成7年) ... 1995年の新築狭路大蔵
 2000年 (平成12年)

(2) 各階のメリット・デメリットを確かめよう

	メリット	デメリット
最上階 5階	<ul style="list-style-type: none"> 防犯上強い プライバシー 生活音 ながめが良い 虫が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> バルコニーの自由度がない 移動がしにくい 下階への音の心配 火災時の対応が遅くなる 地震の揺れが大きい 寒気が溜る 暑くなりやすい
中間 2～4階	<ul style="list-style-type: none"> 防犯上強い プライバシー 生活音 ながめが良い 虫が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> バルコニーの自由度がない 移動がしにくい 下階への音の心配 火災時の対応が遅くなる 地震の揺れが大きい 寒気が溜る
最下階 1階	<ul style="list-style-type: none"> 庭があり、自由度がある 移動距離が短い 下階への音の心配がない 火災時など、逃げやすい 地震で揺れにくい 家賃設定が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯上で弱い プライバシー 生活音 (外の音、水道排水など) 床下から寒気 ながめが悪い 虫が入る 湿気が多い事がある

▶自分が希望する部屋に入れない (入居できない) かも...
 だからこそ、自分が入居したい部屋の [] を明確にしよう

(3) 「住環境をつくる」とはどういうことか？
 住む場所を決める

= [] の一員になる
 = [] の一員として、 [] をより良くするために行動する

①みなさんは、どのような地域に住みたいですか？

②今、みなさんは最寄りという地域に住んでいます。最寄りの一員として、最寄りの「良い所」と「より良くした方がよい所」をメモしよう。

良い所	より良くした方がよい所

③最寄り町を「より良い」地域にするために、自分たちは何ができるかを考えよう。

(4) 小泉さんの話を聞いて、気になったことや不思議に思ったことをメモしよう

「石見工業株式会社の業績」

家づくりは [] である

2時間目は、住まいを決めることは、地域の一員になるという観点から、どのような地域に住みたいと思うのか、また邑南町をどうしたら住みやすい環境になるのかを話し合った。石見工業株式会社からは、「匠の目」としてどのように地域を分析するのか、地域の企業として、邑南町を住みやすい環境にするために何をしているのかを紹介してもらった。

Ⅲ：学校設定教科「起業探究」の設置

1. 学校設定教科「起業探究」

本校普通科では、選択教科で商業科の「ビジネス基礎」等を実施していたが、選択者がより探究的かつ、即戦力として活躍できる資質・能力の向上を図るため、新たに学校設定教科「起業探究」を設置することにした。学校設定教科にすることで、起業ノウハウや知見の蓄積のみならず、総合的な探究の時間の内容の充実や担当教員の拡充などを期待できる。

2. カリキュラム策定までの流れ

本年度の授業実施はないため、教材作成を行なった。他校で行われている起業家教育を参考にしながら、「本校ならではの」「邑南町ならではの」の視点を加え、オリジナル教材を作成した。

①コンセプトの原案作成

魅力化推進センターにて、コンセプトの原案を作成。邑南町での起業として、「地域住民らで作る」「飲食店」「農業」といった特徴が上がった。

②「起業探究」ワーキンググループ



邑南町商工観光課、地域団体とともに、「邑南町ならではの」「矢上高校ならではの」の内容を検討。

人口減少などの町の課題について取り上げてもらいたい、また販売実習、マーケティングの重要性など、それぞれの立場や経験に基づき、「起業探究」の内容を深めていった。

③カリキュラム開発等専門家との協議

2年間のカリキュラムの元ができたので、カリキュラム開発等専門家と協議。「邑南町らしさとして、A級グルメ施策を体感するのはどうか」など具体的なアドバイスをもらい、本校の産業技術科という特徴を生かすために、普通科であっても「6次産業」を学ぶことができるなどの内容へ変更した。

④年間予定の立案と内容の修正

総合的な探究の時間との兼ね合い（学校設定教科は選択教科であるため、選択者と非選択者に分かれる）や、年間計画との調整により、内容の微調整を行なった。

3. 起業探究グランドデザイン

Yakami Local Entrepreneurship Learning Grand Design

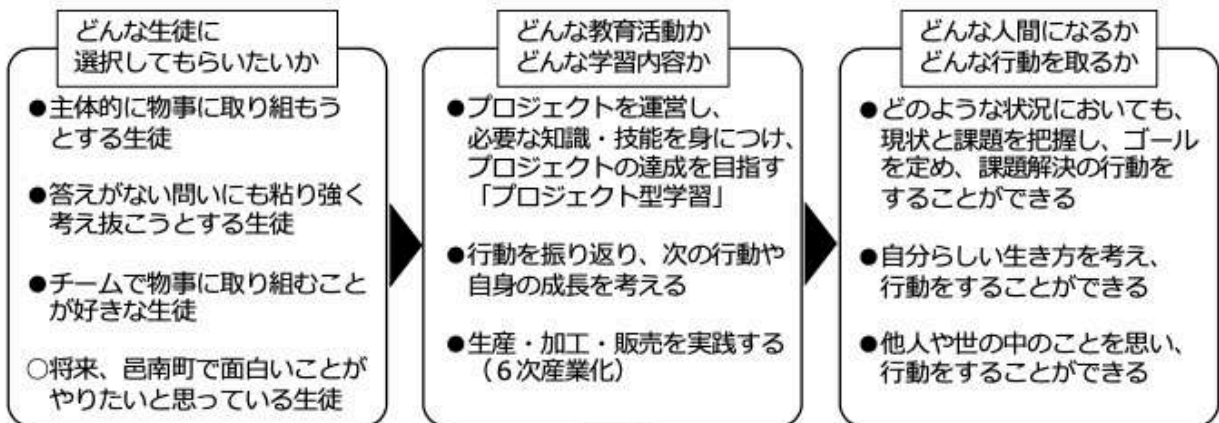
矢上高校「起業探究」グランドデザイン

《私たちができること ～矢上高校「起業探究」の「起業」とは?～》

ゼロから価値を生み出すことや周りを巻き込み、他人や世の中、自分のために行動できる人間を育みたい。「起業」は継続を伴う課題解決であり、自らがどうしても成し遂げなければならないものである。1回で終わるのも、他人任せでもダメ。「自分がやらなきゃダメだ!」という強い意思とその行動が、矢上高校の目指す「起業」である。

ビジョン

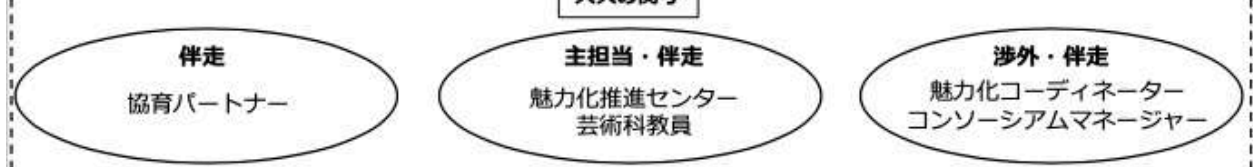
「働く場所がない」と思われている邑南町に、働く場所を自ら作り出し、自分らしく生きる人間が増え、邑南町や日本全国の田舎が輝き、元気を取り戻す。



《カリキュラム内容》

起業探究 I	ゼロから価値を生み出す 市場分析をする 事業計画を立てる 生産する 収穫する 加工する 販売する 経営分析（収支決算）	課題を解決する <small>（総合的な探究の時間）</small> チームビルディング 現状を把握する 理想を設定する 課題を理解する 課題解決策を考える 課題解決策を実践する	自らの生き方・方向性を考える 企業理念を考える 起業という生き方 起業家との出会い（講演） 会社を設立しよう 自身の経験を振り返る 「里山資本論」読解
	起業探究 II	町の課題を解決するビジネス（社会起業）を考え、行動する チームビルディング（地域とチームになる） 現状を把握する／市場分析をする 理想を設定する／経営理念を立てる 課題を理解する 課題解決策を考える／事業計画を立てる 課題解決策を実践する＜準備・販売等、コラボ＞ 経営分析（収支決算）	自らの生き方・方向性を考える 自分の理念を考える 自身の経験を振り返る 自身の経験とプランの発表 起業家との出会い（講演） 地域の人による伴走 「半農半X」読解

大人の関与



イベント報告

1. 普通科課題解決型学習発表会

○日 時 令和2年12月22日(火) 13:20-16:10

○会 場 矢上交流センター (オンラインにて視聴可能)

○講 師 島根大学教育学部 作野広和教授 (カリキュラム開発等専門家)

○参加者 普通科1年(60名)、普通科2年(42名)、教職員(6名) オンライン参加(10名)

○日 程

13:20 概要説明

13:30-14:30 前半4チーム発表 (各チーム10分発表+5分質疑)

14:40-15:40 後半4チーム発表 (各チーム10分発表+5分質疑)

15:50-16:00 全体講評 島根大学教育学部 作野広和教授

16:00-16:10 結果発表等

○発表タイトル

- ・本来の自然を取り戻そう
- ・日貫×邑南ドリームプロジェクト
- ・バリアフリーを目指して
- ・空き家を使って物々交換!
- ・おいでよ 香木の森公園
- ・洗心庭を魅力的にしよう
- ・出羽の魅力を再発見するために
- ・恩食万命 ～フードロス削減への第1歩～





2. 未来フォーラム

○日時 令和3年1月27日(水) 9:00-11:45

○会場 邑南町健康センター元気館(オンラインにて視聴可能)

○講師 邑南町長 石橋良治/日本総合研究所 藻谷浩介

○参加者 普通科1年(60名)、普通科2年(42名)、普通科3年1組(33名)、
産業技術科1~3年(86名)、教職員(30名)、オンライン参加(15名)

○日程

8:45-9:00 オンライン接続

9:00-9:10 開会式

9:10-10:00 3チーム発表 (*各チーム15分発表等)

10:10-10:40 2チーム発表 (*各チーム15分発表等)

11:00-11:20 講評 邑南町長 石橋良治氏

11:20-11:40 講評 日本総合研究所 藻谷浩介氏(*オンライン)

11:40-11:45 結果発表、閉会式

○発表タイトル

- ・バリアフリーを目指して(普通科)
- ・空き家を使って物々交換(普通科)
- ・恩食万命~フードロス削減への第1歩~(普通科)
- ・GAP~活用できる場所を作ろう~(産業技術科)
- ・第12回全国和牛能力共進会を目指して(産業技術科)



3. 探究学習シンポジウム

○日 時 令和3年2月20日（土） 10:00～12:30

○会 場 矢上高校（オンライン）

○参加者 行政関係者[教育委員会／自治体／コンソーシアム]：8名
 学校関係者[小学校／中学校／高校／大学／大学生]：4名
 教育関係者（研究所等）：4名
 地域住民：5名（組）

○日 程

9:30 受付

10:00-10:05 開会式

10:05-10:35 《基調講演》“探究学習の意義”

独立行政法人教職員支援機構センター長 清國祐二 氏

10:35-10:45 《事業報告》”しまね教育魅力化ビジョンにおける探究学習の位置付け”

島根県教育委員会

10:45-11:10 《事業報告》“おおなん協育プロジェクトについて”

島根県立矢上高等学校

11:20-12:00 《座談会》話者、参加者同士が繋がり、困っていることや不安なことなどを共有し、
 解決策について考える。

12:00-12:25 《振り返り》座談会の内容を共有し、参加者全体で学びを深める

令和2年度文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」指定校



矢上高校 探究学習シンポジウム

日時 2/20(土) 10:00-12:30
会場 オンラインにて開催

矢上高校では、文部科学省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、地域人育成のためのプログラム開発を行っているところです。本校の取組を知っていただき、このシンポジウムが「探究学習」について共に考えるひとつの機会になれば幸いです。高校のみではなく、小学校、中学校、特別支援学校、大学等、教育に興味のあるすべての方にご参加いただき、ご参加のみならず、まよまよと学びの多い時間になりたいと思います。なお、本校で開催した探究学習の発表の様子については、お申し込みいただいた方に見ていただけるようにいたします。

第1部 《基調講演》 (10:05-10:35) 第2部 《座談会》 (11:20-12:00)

“探究学習の意義”

〇講師

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター長

清国祐二 氏

《事業報告》 (10:35-11:10)

〇島根県教育委員会

“しまね教育魅力化ビジョンにおける探究学習の位置づけ”

〇矢上高校の取り組み

“おおなん協働プロジェクトについて”

話者、参加者同士が繋がり、困っていることや不安なことなどを共有し、解決策について考えます。

《振り返り》 (12:00-12:25)

座談会の内容を共有し、参加者全体で学びを深めていきます。

申込み切：2/13(土)

お申し込みフォーム

お申し込みフォームにご記入いただき、FAXもしくはご持参ください。事前に資料をお送りしますのでお間違いのないようお願いいたします。

名前			連絡先
区分	<input type="checkbox"/> 学校関係者 [小学校/中学校/高校/大学/大学生] <input type="checkbox"/> 行政関係者 [教育委員会/自治体/コンソーシアム] <input type="checkbox"/> その他 ()	所属先	
メールアドレス			
座談会テーマ	<input type="checkbox"/> 探究学習：カリキュラム <input type="checkbox"/> 探究学習：校内体制 <input type="checkbox"/> 傍聴のみ希望 <input type="checkbox"/> その他 ()	特に議論したいこと	

* Zoomというウェブ会議システムでの配信を予定しています。スマートフォンから視聴予定の方は、アプリケーションのダウンロードをお願いします。パソコンから接続される方は、事前にダウンロードは不要です。
* Wi-Fiなど、インターネット環境での利用をお勧めします。* Zoomのダウンロードはこちらから→ <https://zoom.us/>

お問い合わせ

矢上高校魅力化推進センター 石原・小林
TEL：0855-95-1105 FAX：0855-95-1995



令和2年度文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」
矢上高校探究学習シンポジウム

《基調講演》

探究学習の意義

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター長

清国 祐二



地域との協働による高等学校教育改革推進事業
矢上高校探究学習シンポジウム資料

しまね教育魅力化ビジョン 県立高校魅力化ビジョン における探究学習の位置づけ



2021. 2. 20

教育指導課地域教育推進室 馬庭寿美代

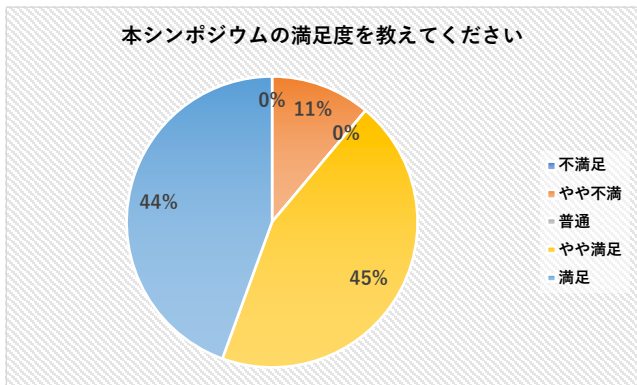


○本校の報告内容

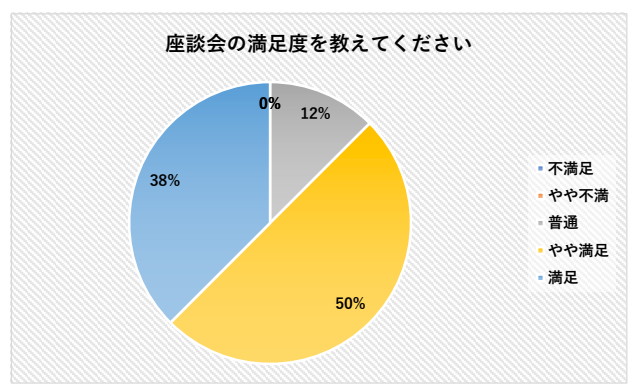
<p>令和2年度 島根県立矢上高等学校 地域との協働による 高等学校教育改革推進事業 “おおなん協働プロジェクト” 事業報告 令和3年2月20日(土) 矢上高校魅力化推進センター</p>	<p>矢上高校とは</p>	<p>報告内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) そもそもなぜ手を挙げたのか (2) どんなことに取り組んだのか (3) 結果、どうなったのか (4) 考察 うまくいったこと、うまくいかなかったこと (5) 課題 ～資源から考える～ (6) 今後の対応/次年度に向けて (アイデアベース) 	<p>(1) そもそもなぜ手を挙げたのか</p> <p>【協働の理由】 〇「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」に変更されたが、内容は変わらないという情報。 〇「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への参加。 〇「おおなん協働プロジェクト」の推進。 〇「おおなん協働プロジェクト」の推進。 〇「おおなん協働プロジェクト」の推進。</p> <p>【地域との協働による高等学校教育改革推進事業】への参加を挙げ、矢上高校普通科の探究学習を実現させる契機となった。</p>
<p>(2) どんなことに取り組んだのか</p>	<p>(2) どんなことに取り組んだのか</p> <p>目的 ふるさとを思い地域の未来をつくる人を育成する</p> <p>手段 1：総合的な探究の時間の再構築 2：教科横断カリキュラムの整備 3：学校設定教科「起業探究」の設置</p> <p>コンソーシアムを組織する</p>	<p>(2) どんなことに取り組んだのか</p> <p>【総合的な探究の時間の再構築】 ・授業実施は、字字会（担任）へ ・企画は「遠隔指導部」から「魅力化推進センター」 ・チャットツール（LINEやワークシート、スライドなど）活用</p>	<p>(2) どんなことに取り組んだのか</p> <p>【教科横断カリキュラムの整備】 ・教員ヒアリング「他の教科で、同じようなことを学んでいる」 ・事例共有（島根県男女共立）、交流（島根県立、島根県立）</p> <p>【1学期】 ① 探究（起業）の導入 ② 探究（起業）の導入</p> <p>【2学期】 ③ 探究（起業）の導入 ④ 探究（起業）の導入</p>

<p>(2) どんなことに取り組んだのか</p> <p>【学校指定教科「経営探究」の位置】 今回は、教科書作りが目標 分りシステム開発等専門家、色紙制作王職実践、地域図説と協議</p> <p>【経営探究の位置】 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか</p>	<p>(3) 結果、どうなったのか（指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「地域の課題の解決方法について考える」</td> <td>55% 60%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」</td> <td>45% 34.7%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」</td> <td>40% 47.7%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>60% 100%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>30% 100%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40% 100%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40% 100%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40% 100%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40% 100%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	達成率	【授業内容】	「地域の課題の解決方法について考える」	55% 60%	【授業内容】	「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」	45% 34.7%	【授業内容】	「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」	40% 47.7%	【授業内容】	経営探究の位置	60% 100%	【授業内容】	経営探究の位置	30% 100%	【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%	【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%	【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%	【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%	<p>(3) 結果、どうなったのか（指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「経営探究の位置」</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」</td> <td>47.7%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>【授業内容】</td> <td>経営探究の位置</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	達成率	【授業内容】	「経営探究の位置」	60%	【授業内容】	「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」	34.7%	【授業内容】	「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」	47.7%	【授業内容】	経営探究の位置	60%	【授業内容】	経営探究の位置	30%	【授業内容】	経営探究の位置	40%	【授業内容】	経営探究の位置	40%	【授業内容】	経営探究の位置	40%	【授業内容】	経営探究の位置	40%	<p>(4) 考察 うまくいったこと、うまくいかなかったこと</p> <p>うまくいったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか <p>うまくいかなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか
項目	目標	達成率																																																													
【授業内容】	「地域の課題の解決方法について考える」	55% 60%																																																													
【授業内容】	「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」	45% 34.7%																																																													
【授業内容】	「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」	40% 47.7%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	60% 100%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	30% 100%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40% 100%																																																													
項目	目標	達成率																																																													
【授業内容】	「経営探究の位置」	60%																																																													
【授業内容】	「何を、誰のいままんずる問題を解決したいか」	34.7%																																																													
【授業内容】	「地域をどうでビジネス活動に活用したいか」	47.7%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	60%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	30%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40%																																																													
【授業内容】	経営探究の位置	40%																																																													
<p>(4) 考察 うまくいったこと、うまくいかなかったこと</p> <p>生徒の探究活動の時間的な流れ</p> <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか 経営探究の位置をどうするか 	<p>(5) 課題 ～資源から考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での評定者が不在 校内での評定者が不明確（校内体制） 生徒自身が学びを振り返るツールが不在 安定した探究学習用の予算の確保（PC代、製作資金等） 予算の有無に関わらず学習の担保ができる内容へ 取り上げる課題やテーマ設定が難しい 探究と教科の連携ができていない 総合的な探究の時間だけで終わらない（仮定） 課外の時間の扱い（生徒も先生も、授業も課外も学校行事も） 課外の時間の扱い（生徒も先生も、授業も課外も学校行事も） 	<p>(6) 今後の対応/次年度に向けて（フィードバック）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で「協賛パートナー」を設定し、存続のための研修を実施 伊豆商會を認定し、オフィスアワーのような制度を設計 Google Classroomで実践中だが、デバイスの有効に影響を受けないよう、オンラインではなく、オンデマンド形式にする 企業からの賛助/資金と同時に課題解決のテーマも設定？ 外に出るだけでなく、外から来てもらう期間も検討する 協賛の情報をまとめたガイドブックを現在、作成中 探究と教科をつなぐ（振り返り）授業やテーマ設定 年間計画を立ててメリハリをつける。地域系活動へ引き継ぐ 教員に探究学習可能な範囲を設定する 	<p>まとめ</p> <p>よりよい探究学習のために必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ねらい」の設定と、その共有 「ねらい」を創りに活かさないために、授業をマネジメントする（＝経営資源を経営する）視点（やらせ防止に注意） 「学校という限られた資源の中でやりくりするだけでなく、地域の資源をも有効に活用・共有するために、学校と地域でコンソーシアムを作る 地域「なんのために？」 																																																												

○シンポジウムの満足度



○座談会の満足度



○シンポジウムに参加してよかった（学ぶことができた）と思うことはどのようなことでしたか。

- ・清國先生、馬庭指導主事の話であらためて探究学習の位置づけを確認できた。矢上高校の振り返りの中で、経営資源別に課題や対応を考えるという視点が参考になった。
- ・探究学習の意義や可能性について改めて考えることができた
- ・現場の課題感がよくわかったですし、新たな視点（部活動×探究等）も学びました
- ・清國先生と考えが共有出来たと思う
- ・探究学習を運営していく上で、様々な重要な点を確認し、学ぶことができて、良かったです。
- ・校長先生以下、しっかり取り組みたいという覚悟が見られたことでしょうか。とてもすがすがしい気持ちになりました。期待しています。
- ・私は義務籍の教員ですので、高等学校の探究活動の様子を知ることができたことが良かったです
- ・座談会で働き方改革についての視点をいただいたこと

○本シンポジウムや学校での探究学習についての感想等を教えてください。

- ・各学校での探究学習は進展し続けていて、今回のように生徒の発表を共有した上で、それを進める大人視点での振り返りを共有する場の意義は大きいと感じた。座談会に参加出来ず残念だったが、この様な機会をつくっていただき、ありがとうございました。
- ・1年間お疲れ様でした。2年目の取組も注目しています。
- ・学生の自ら探究課題を見つけるのは難しいと思う。邑南町には地区別戦略を行っている、これをこうした方がいい。学校に各地区から地区別戦略の課題目標を発表する場を設ける（各地区から来てい

ただく＝地域とのかかわりが深くなる＝地域の理解も深まる。)。後フォローも大切。清国先生も言われていたが、プロモーションビデオを成果物として作らせる＝学生にも力が入る。

- ・ 素適な機会をありがとうございました！
- ・ 探究学習の意図が分かり、シンポジウムに参加して良かったです
- ・ 今回、時間の観点でもいろいろお話がされていましたが、発表の中にもあったように、どれだけ教員が手放せて行っていくことができるかということや教科や部活動など中で総探の時間以外で探究的に学ぶ体制をつくれるかということが重要だと感じました。また、生徒さんの発表の動画をみて、自分たちの身の回りのことをテーマにし、実践的に活動し、データを取りながら研究を進めている姿はとても主体的で、今後にもつながっていくような活動で魅力的でした。探究学習について理解を深めるよい機会となりました。ありがとうございました。
- ・ そうは言っても、ふるさと教育と高校魅力化に齟齬が生じないように、また地域の持続可能性に寄与するよう、探究の時間が成立すればよいと思います。
- ・ 本日は、探究学習シンポジウムとして、貴重な時間を提供頂きありがとうございました。座談会でも話しましたが、私が矢上高校さんを知ったのは2か月前です。選抜の中国地区候補になり、矢上高校さんの野球部の活躍、学校全体の探求学習をはじめとする取組を知り興味を持った次第です。地域との関わりの中で探究学習は、学び深めていくものと思います。その土台としての家庭科や公民科などの各教科との連携等、カリキュラム・マネジメントの工夫がとても参考になりました。今後、益々の矢上高校さんのご発展を願い、本シンポジウムの感想と致します。ありがとうございました。
- ・ 地域活性化に向けた活動を高校生がされており、課題解決ができる資質・能力を育てられようとしていることがよく分かりました。

実施体制報告

1. 運営指導員会

【第1回運営指導員会】

- 日時 令和2年7月22日(水) 16:00~17:00
- 会場 矢上高校(オンライン)
- 参加者 清國 祐二(独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センターセンター長)
馬庭 寿美代(島根県教育委員会教育指導課企画幹)
日高 輝和(邑南町副町長)
志波 英樹(矢上高校校長)
奈良井 瑞恵(矢上高校教頭)
石原 寛治(矢上高校主幹教諭)
田村 成生(邑南町地域みらい課)
小林 圭介(矢上高校魅力化コーディネーター)
- 内容
 - (1) 本事業概要
 - (2) 令和2年度事業計画について
 - (3) 協議等(質疑応答・意見交換)

【第2回運営指導員会】

- 日時 令和3年2月20日(土) 13:00~14:30
- 会場 矢上高校(オンライン)
- 参加者 清國 祐二(独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センターセンター長)
馬庭 寿美代(島根県教育委員会教育指導課企画幹)
日高 輝和(邑南町副町長)
志波 英樹(矢上高校校長)
奈良井 瑞恵(矢上高校教頭)
石原 寛治(矢上高校主幹教諭)
田村 成生(邑南町地域みらい課)
小林 圭介(矢上高校魅力化コーディネーター)
- 内容
 - (1) 令和2年度事業報告
 - (2) 振り返り(成果と課題)、次年度計画について
 - (3) 協議等(質疑応答・意見交換)
 - (4) その他

2. コンソーシアム総会

○日 時 令和2年9月30日(水) 15:30~16:30

○会 場 矢上高校

○参加者 田村 哲(邑南町地域みらい課)

名目良 明利(島根県教育委員会教育指導課指導主事)

湯浅 康平(邑南町教育委員会学校教育課)

佐々木 千尋(島根県立石見養護学校)

河鱈 正信(矢上高校地域応援団)

志波 英樹(矢上高校校長)

奈良井 瑞恵(矢上高校教頭)

石原 寛治(矢上高校主幹教諭)

田村 成生(邑南町地域みらい課)

小林 圭介(矢上高校魅力化コーディネーター)

○内 容

- (1) コンソーシアム規約
- (2) 令和2年度事業計画
- (3) 令和2年度中間活動報告
- (4) その他



取り組み成果と次年度に向けて

1. 取り組み成果

指標	項目	目標	結果
成果目標 (高校魅力化 評価システム) *7月実施	“地域の課題の解決方法について考える”生徒の割合	55%	60%
	“将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う”生徒の割合	45%	54.7%
	“地域社会などでボランティア活動に参加した”生徒の割合	40%	47.7%
高校の 活動指標 *3月時点	研究授業等の回数	6回	2回
	普及・促進のためのワークショップやシンポジウムの開催回数	2回	1回
	協育プログラム教材の制作及びその公開単元数	4本	8本
地域の 活動指標 *3月時点	地域による授業の実施回数(地域でのフィールドワークなど含む)	8回	8回
	運営指導員会やカリキュラム開発、 コンソーシアム構築・運営のための会議回数	9回	7回

生徒の変容については、3月末に島根県の「高校魅力化評価システム」を実施し、再度確認する。高校及び地域の活動は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、不要不急の活動を自粛し、変更を行った(6ページ参照)。次年度、新型コロナウイルス感染症蔓延状況によって、変更も余儀なくされるが、オンラインツールや少人数での行動など工夫したい。

2. 生徒へのアンケート結果

○探究学習の活動(5月～12月)を通じて、どのような力が身についたと思いますか
(生徒の意見を抜粋)

身についたと思う力	発揮された場面
実行力	地域に行って問題を見つけたりそれを解決したりする時
働きかけ力	先生を巻き込みながら、アンケートを取っていただいたり、沢山協力をしていただいて、活動を成功させることが出来ました。
主体性	掃除や運営、レポートやスライドをまとめている場面で鍛えられたと思いました。
主体性・実行力	企画を行う際や役場へ、フィールドワークへ出向いた際に発揮できた。
計画力・想像力	班のメンバーと今後の計画を練ったり、アイデアを出し合った際はこの二つの力が求められた。
状況把握力	班長だったので、何度も判断を下す場面があり常に必要とされたと思う。
規律性	役場と看板を使ってタイアップを試みた際
実行力	私のチームは丸太で椅子を作ったり写真展示会をしたり、課題解決のために行動出来ました。

発信力	地域の方と話す場面でアイデアを出し合う時
想像力	今までになかった0円ショップというものを一から作っていく時に想像力が鍛えられた
想像力、主体性	パワーポイントを作るときに発揮されたと思う
課題発見力	アンケート実施、集計、傾向分析

生徒の中には、「自分がこんなことができるなんて思わなかった」「やってよかった」と感想を漏らす生徒もおり、主体性等のみならず、自尊感情の醸成にもつながるであろう。

2. 次年度に向けて

○総合的な探究の時間

「実践（アクション）」を重視し、土日に実施する生徒の姿が見られた。しかし放課後の利用など、授業時間以外の時間での実施が大きい。部活動への影響も大きかったのではないかと（逆に部活動を実施していない生徒が多いところは実践が盛んに行われている傾向がある）。次年度は、「実践」以外の教育活動は授業時間内に納める。特に部活動への支障をきたさないよう、「フィールドワーク（2~4時間×2回）」や「実践アイデア作り（2時間）」など時間のかかるものは、予め確定させる。また、伴走者の関与具合によってもアウトプットに差が生じることがわかった。地域の人材を「協育パートナー」として認定し、生徒の伴走をお願いしたい。

○教科横断型カリキュラム

教科を横断するにあたって、各学期での評価（どの教科で評価するのか）が課題となっている。年度途中から教科横断となっていたため、次年度計画を立てる際に単元計画を調整し、教科横断の予定を調整する。

○学校設定教科「起業探究」

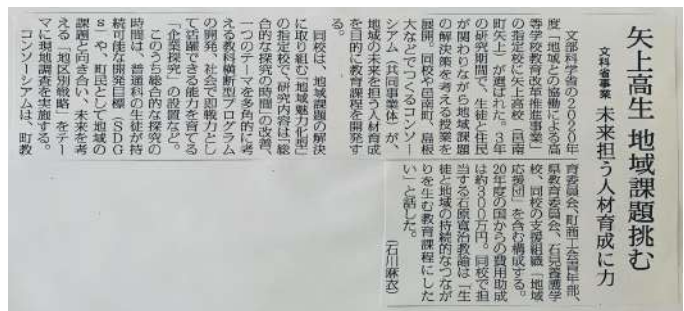
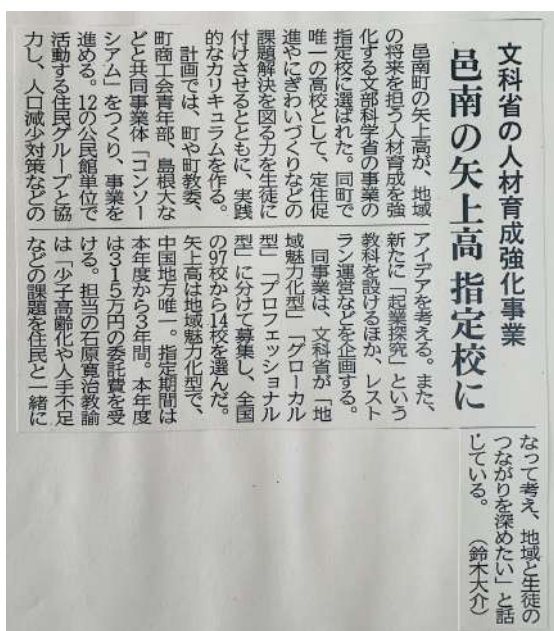
今年度は、教材開発を行なった。総合的な探究の時間で活用できる内容であるため、相互の連携を図り、内容の充実を図る。ただし、学校設定教科「起業探究」の選択者と非選択者で差が生じないような工夫を心がける。また、フィールドワーク等はあらかじめ予定を立てておく。

《新聞記事》

日付	出所	記事タイトル
2020.05.21 (木)	中國新聞	邑南の矢上高 指定校に
2020.06.05 (金)	山陰中央新報	矢上高生 地域課題挑む
2020.07.22 (水)	山陰中央新報	30年後の食事 想像して 邑南・矢上高生食糧危機問題考える
2020.07.25 (土)	山陰中央新報	石見和牛一頭分間隔あけよう
2020.08.02 (日)	中國新聞	人との距離は和牛1頭
2020.12.23 (水)	山陰中央新報	フードロス減らせた 矢上高 身近な課題解決策探る
2021.01.28 (木)	中國新聞	邑南町の課題解決 矢上高生発表会
2021.02.11 (木)	山陰中央新報	邑南での暮らし考えて U・Iターン者 矢上高生に魅力語る

《テレビ報道》

放送期間	放送区域	番組タイトル
2021.01～2021.02	島根県全県下	地域とともに未来を描く！～高校生の地域課題解決型学習～



2020.06.05 (金) 山陰中央新報



武田正文さん（左）の話を聞く生徒

邑南での暮らしを考えて

U・ターナー 矢上高生に魅力語る

若者に将来の人生設計のヒントを話すとともに、ふるさとへの愛着を育んでもらう「はばたき講座」が10日、邑南町矢上の矢上交流センターであった。卒業を控えた矢上高校、邑南町矢上の3年生50人が、U・ターナー氏から話を聞き、考え方の参考にした。

高壽寺「回町鶴淵」の副住職武田正文さん(55)や町社会福祉協議会に勤務する石田麻衣さん(38)広島市出身の4人が登壇した。

「郡会は給料が高いんですか」という生徒からの質問に、石田さんが「お金も大切だが自分がどんな生活をした方がいいのか、どう生活したいのか考えてほしい」

「建築士を目指し県外の専門学校に進学する南原志穂美さん(18)は「人生設計の参考になった」と話した。講座は町公民館連絡協議会が、進学や就職などで社会に巣立つ町内の高校と特別支援学校の生徒を対象に開いた。

（石川麻衣）

2021.02.11（木）山陰中央新報

令和2年度 島根県立矢上高等学校

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」活動報告書

おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

発行日 令和3年3月5日

編集・発行 島根県立矢上高等学校 魅力化推進センター

〒696-0198 島根県邑智郡邑南町矢上3921

TEL 0855-95-1105（代表）

FAX 0855-95-1995

印刷 社会福祉法人わかば会 邑智園